

企業経営者意識調査

1 概況（令和6年7-9月）

P 1

2 調査結果

1	経営状況	P 3
2	雇用状況	P 7
3	在庫、価格水準	P 11
4	設備投資の状況	P 13
5	地域別にみる各産業の動向	P 15
6	道内の景況感（景気の状況）	P 23
7	業種・地域別企業経営者の声	P 24
8	業況感の長期推移	P 28

3 特別調査

1	原油・原材料価格高騰の影響について	P 29
2	円安の影響について	P 30
3	人手不足の状況について	P 31

4 調査方法

P 34

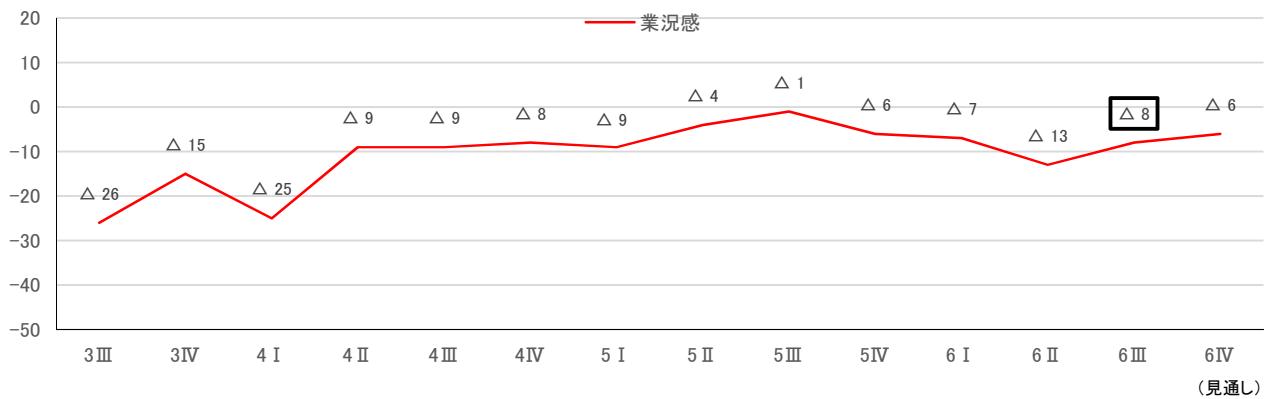
1

概況(令和6年7-9月)

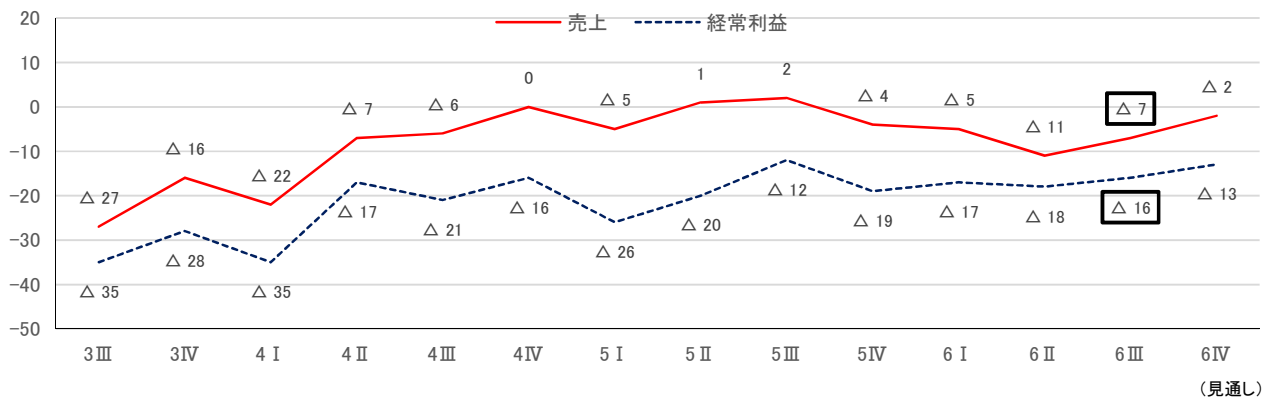
■ 調査対象企業数は900社、回答者数は434社、回答率は48.2%

- (1) 業況感BSIは、前期から5ポイント上昇し、 $\Delta 8$ ポイント。来期の見通しは $\Delta 6$ ポイント。
- (2) 売上(生産)高BSIは、前期から4ポイント上昇し、 $\Delta 7$ ポイント。
 経常利益BSIは、前期から2ポイント上昇し、 $\Delta 16$ ポイント。
- (3) 資金繰りBSIは、前期から1ポイント上昇し、 $\Delta 8$ ポイント。
- (4) 雇用者の不足感BSIは、前期から1ポイント上昇し、49ポイント。
- (5) 1人当たりの賃金BSIは、前期から2ポイント上昇し、66ポイント。
- (6) 仕入価格(原材料)[製造業]BSIは、前期から横ばいで、74ポイント。
- (7) 仕入価格(商品)[卸売・小売業]BSIは、前期から4ポイント下降し、80ポイント。
- (8) 道内の景況感(景気の状態)BSIは、前期から3ポイント上昇し、 $\Delta 9$ ポイント。

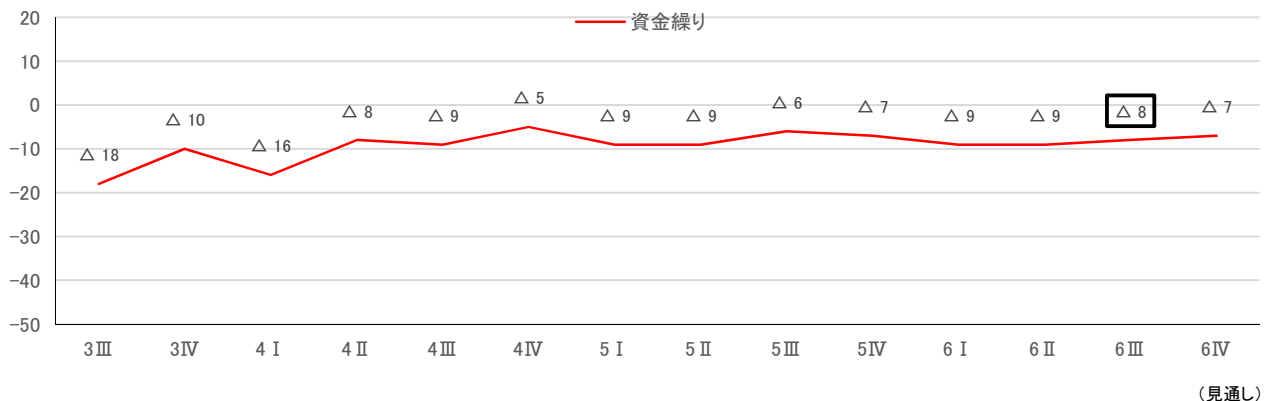
(1) 業況感(「上昇」-「下降」)



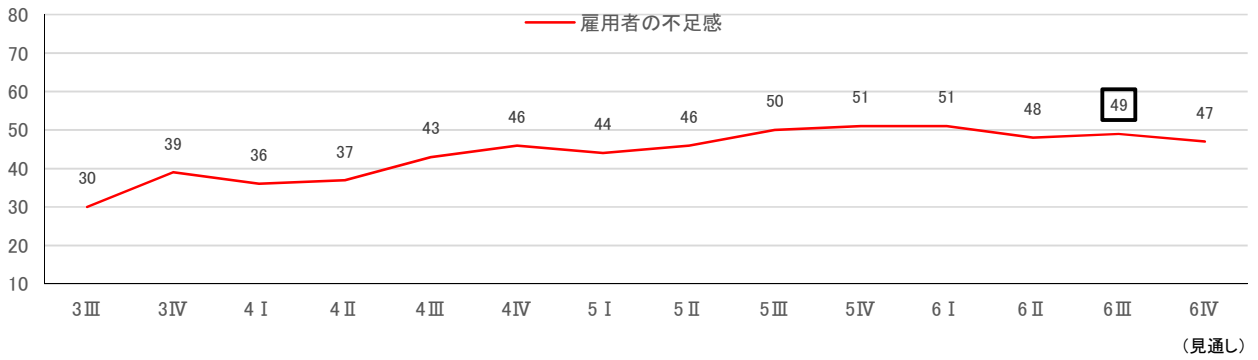
(2) 売上・経常利益(「増加」-「減少」)



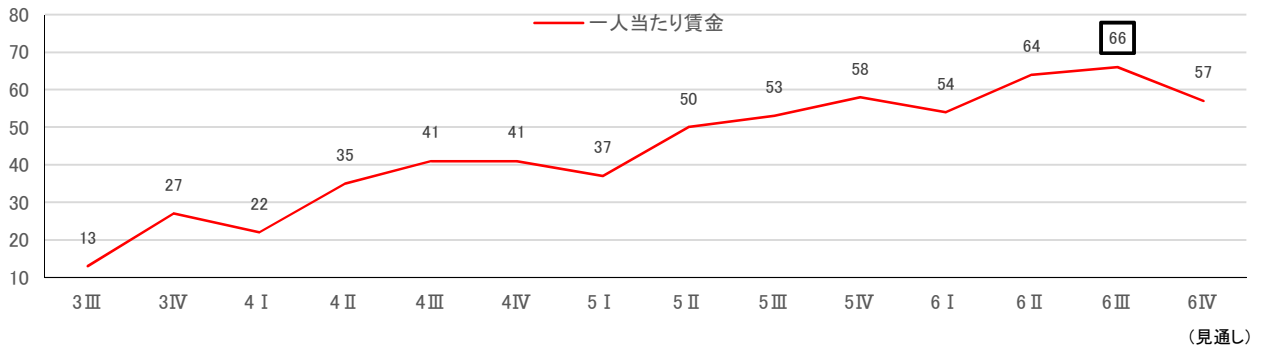
(3) 資金繰り(「改善」-「悪化」)



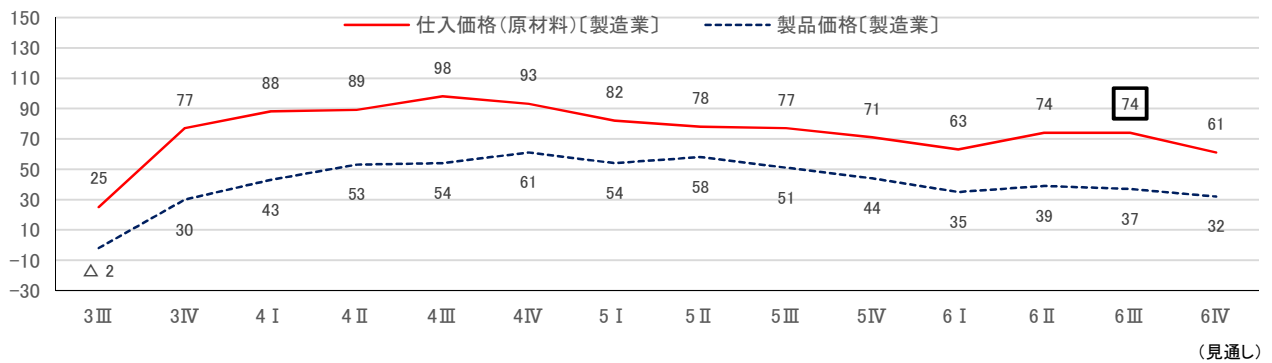
(4) 雇用者の不足感(「不足」-「過剰」)



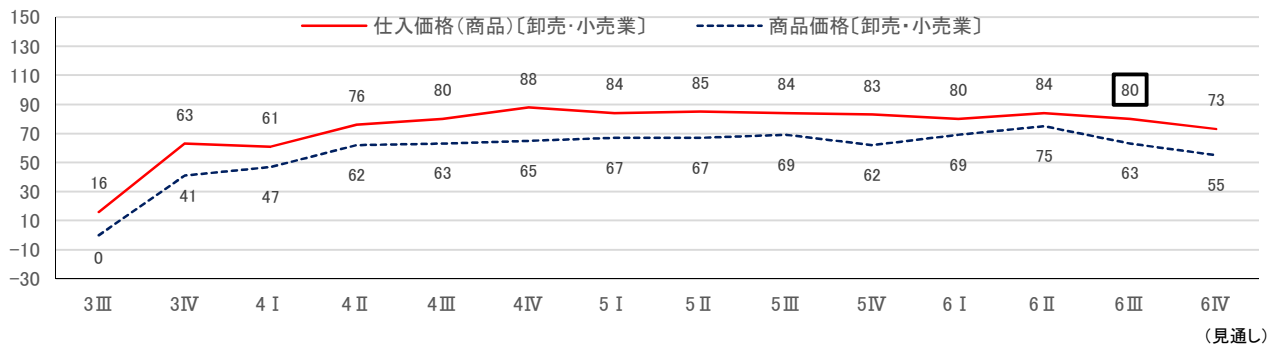
(5) 1人当たりの賃金(「増加」-「減少」)



(6) 仕入価格(原材料)・製品価格[製造業](「上昇」-「下降」)

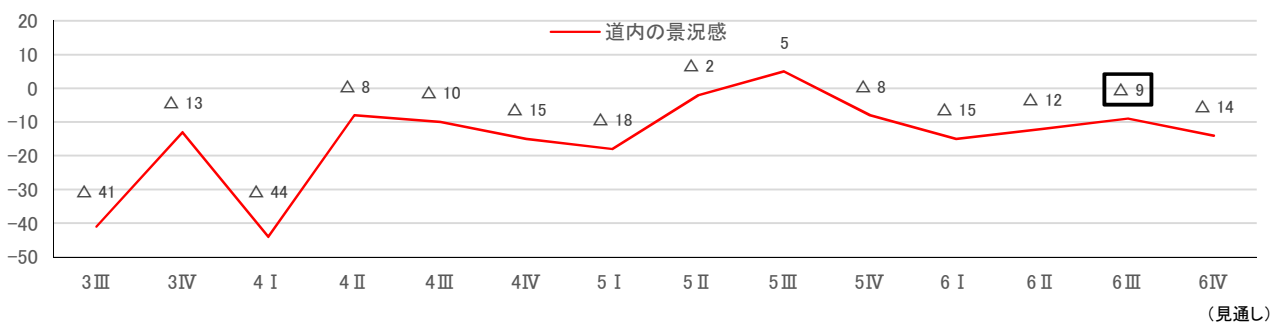


(7) 仕入価格(商品)・商品価格[卸売・小売業](「上昇」-「下降」)



(8) 道内の景況感(景気の状況)(「上昇」-「下降」)

※直前の四半期との比較



2 調査結果

1 経営状況

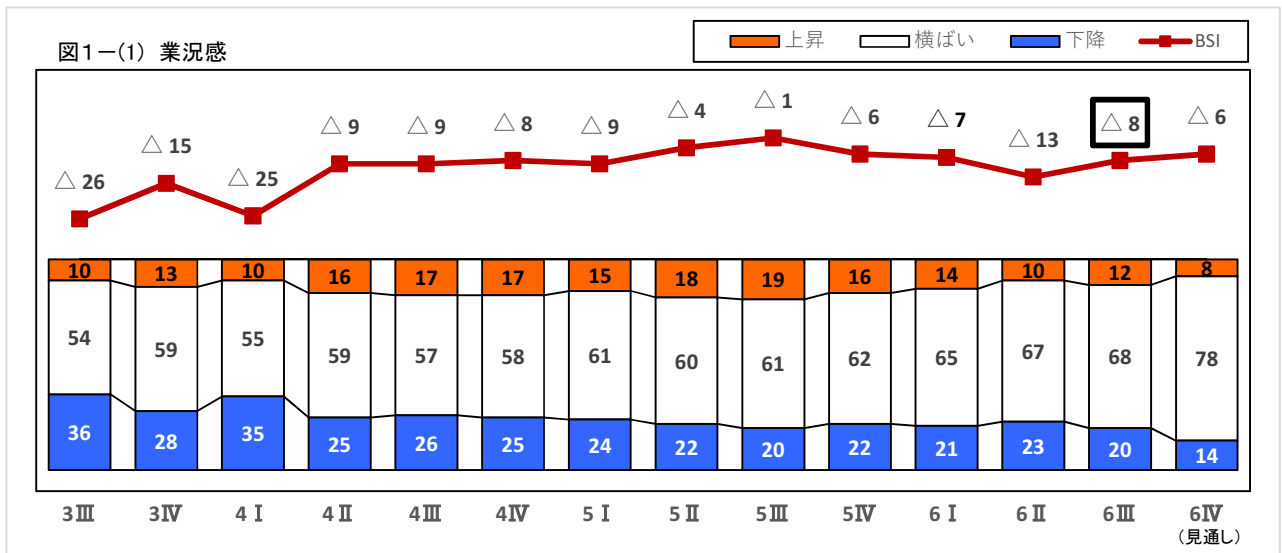
※昨年同時期との比較

(1) 業況感

今期の業況感BSIは△8(前期から5ポイント上昇)

- 業種別にみると、建設業はマイナス幅が拡大、製造業、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が縮小、サービス業はプラス幅が拡大。
- 地域別にみると、道南、オホーツクは横ばい、道央、道北、十勝、釧路・根室はマイナス幅が縮小。

来期の業況感BSIは△6(今期から2ポイント上昇)



※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

表1-(1) 業況感(業種・資本金・地域別)

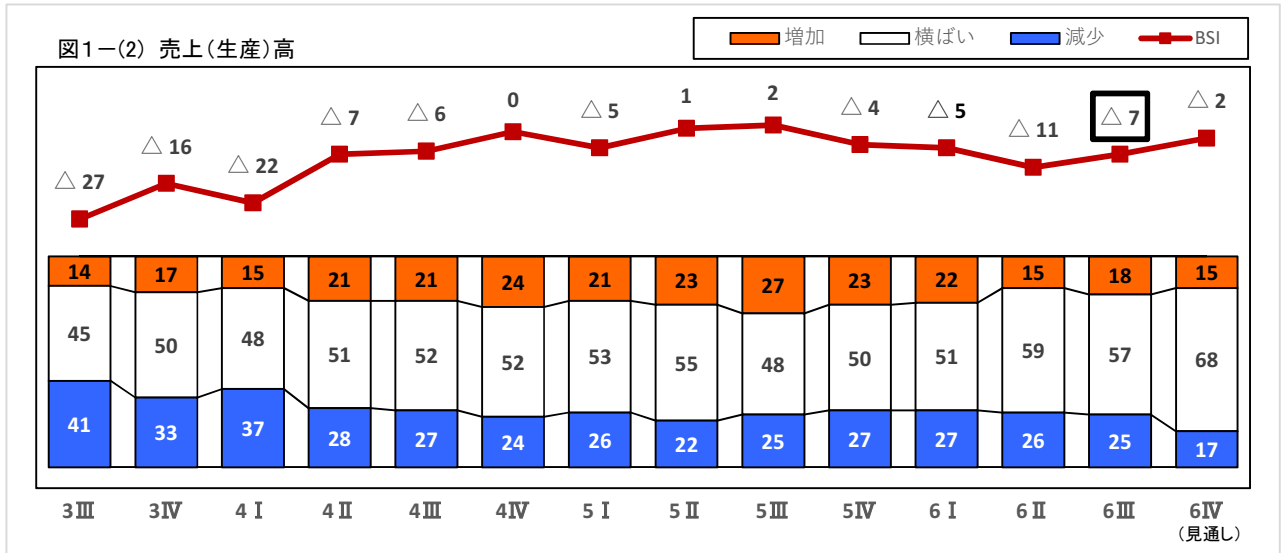
区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績					R6年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計	△13	12	68	20	△8	5	8	78	14	△6	2
札幌市を除く	△16	11	68	21	△10	6	7	78	15	△8	2
札幌市	△4	12	71	17	△5	△1	11	78	11	0	5
業種											
建設業	△11	6	68	26	△20	△9	6	75	19	△13	7
製造業	△22	8	63	29	△21	1	9	77	14	△5	16
卸売・小売業	△28	14	64	22	△8	20	5	79	16	△11	△3
運輸業	△15	13	73	14	△1	14	10	77	13	△3	△2
サービス業	3	15	75	10	5	2	9	80	11	△2	△7
資本金											
5千万円未満	△18	11	69	20	△9	9	7	75	18	△11	△2
5千万円以上~1億円未満	△5	14	70	16	△2	3	11	82	7	4	6
1億円以上	△2	11	68	21	△10	△8	10	82	8	2	12
地域											
道南	△8	12	68	20	△8	0	8	76	16	△8	0
道央	△7	14	70	16	△2	5	9	82	9	0	2
札幌市を除く	△9	16	69	15	1	10	7	85	8	△1	△2
札幌市	△4	12	71	17	△5	△1	11	78	11	0	5
道北	△23	4	70	26	△22	1	1	77	22	△21	1
オホーツク	△25	3	69	28	△25	0	3	73	24	△21	4
十勝	△17	9	75	16	△7	10	9	80	11	△2	5
釧路・根室	△18	20	58	22	△2	16	16	68	16	0	2

(2) 売上(生産)高

今期の売上(生産)高BSIは△7(前期から4ポイント上昇)

- ・ 業種別にみると、建設業はマイナス幅が拡大、製造業は横ばい、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が縮小、サービス業はプラス幅が拡大。
- ・ 地域別にみると、道南、十勝はマイナス幅が縮小、道央、釧路・根室はプラスに転換、道北、オホーツクはマイナス幅が拡大。

来期の売上(生産)高BSIは△2(今期から5ポイント上昇)



※「増加」「横ばい」「減少」は%、BSIはポイント(「増加」-「減少」)

表1-2) 売上(生産)高(業種・資本金・地域別)

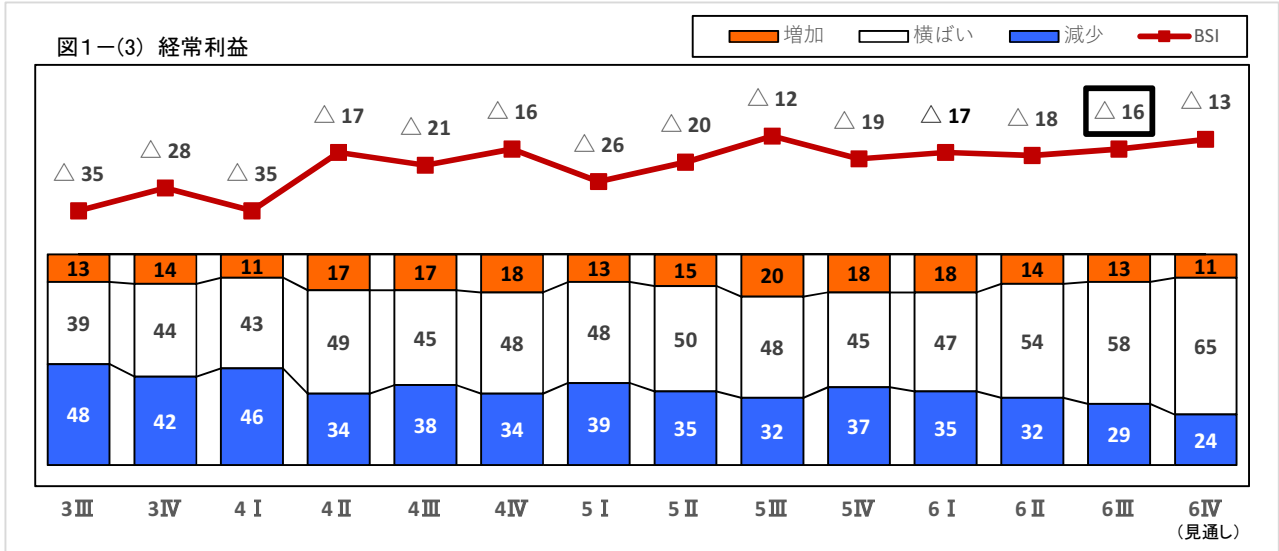
区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績					R6年10-12月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計	△ 11	18	57	25	△ 7	4	15	68	17	△ 2	5
札幌市を除く	△ 14	19	57	24	△ 5	9	15	67	18	△ 3	2
札幌市	0	17	58	25	△ 8	△ 8	15	71	14	1	9
業種											
建設業	△ 6	8	63	29	△ 21	△ 15	7	71	22	△ 15	6
製造業	△ 18	15	52	33	△ 18	0	22	56	22	0	18
卸売・小売業	△ 20	26	48	26	0	20	17	69	14	3	3
運輸業	△ 16	17	62	21	△ 4	12	16	67	17	△ 1	3
サービス業	0	23	61	16	7	7	13	75	12	1	△ 6
資本金											
5千万円未満	△ 17	18	56	26	△ 8	9	12	69	19	△ 7	1
5千万円以上～1億円未満	△ 2	19	58	23	△ 4	△ 2	20	66	14	6	10
1億円以上	4	18	59	23	△ 5	△ 9	21	66	13	8	13
地域											
道南	△ 8	16	64	20	△ 4	4	12	68	20	△ 8	△ 4
道央	△ 3	23	55	22	1	4	18	70	12	6	5
札幌市を除く	△ 6	29	52	19	10	16	21	69	10	11	1
札幌市	0	17	58	25	△ 8	△ 8	15	71	14	1	9
道北	△ 26	7	57	36	△ 29	△ 3	7	67	26	△ 19	10
オホーツク	△ 23	7	59	34	△ 27	△ 4	7	65	28	△ 21	6
十勝	△ 11	20	60	20	0	11	20	71	9	11	11
釧路・根室	△ 11	26	54	20	6	17	16	64	20	△ 4	△ 10

(3) 経常利益

今期の経常利益BSIは△16(前期から2ポイント上昇)

- ・ 業種別にみると、建設業、製造業、サービス業はマイナス幅が拡大、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が縮小。
- ・ 地域別にみると、道南は横ばい、道央、オホーツクはマイナス幅が拡大、道北、十勝はマイナス幅が縮小、釧路・根室はプラスに転換。

来期の経常利益BSIは△13(今期から3ポイント上昇)



※「増加」「横ばい」「減少」は%、BSIはポイント(「増加」-「減少」)

表1-(3) 経常利益(業種・資本金・地域別)

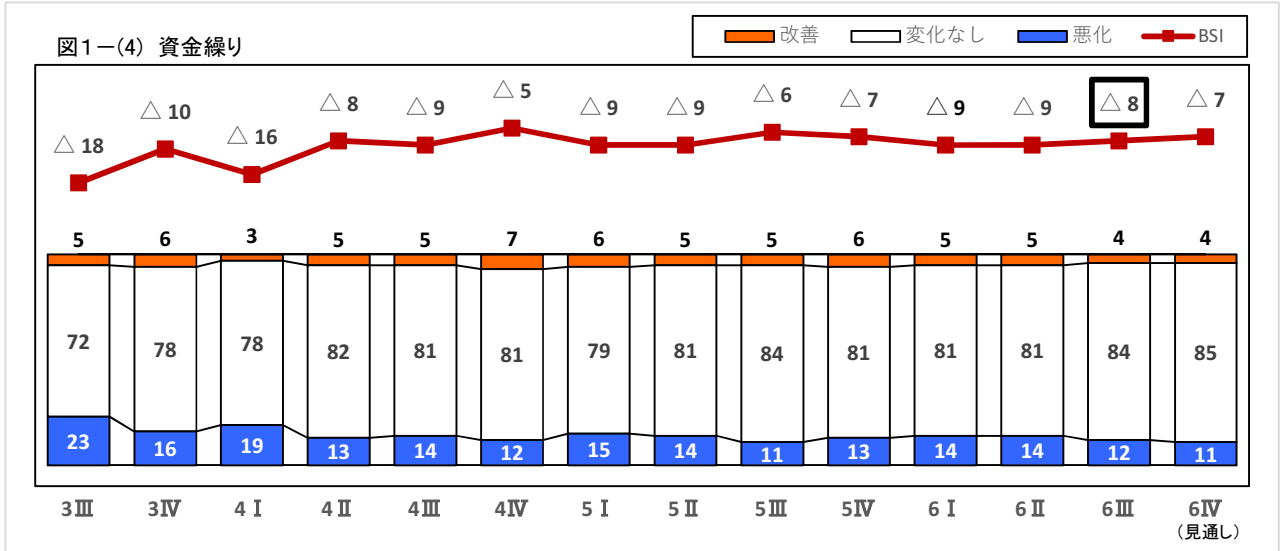
区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績					R6年10-12月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計	△ 18	13	58	29	△ 16	2	11	65	24	△ 13	3
札幌市を除く	△ 21	12	58	30	△ 18	3	10	65	25	△ 15	3
札幌市	△ 11	14	58	28	△ 14	△ 3	13	67	20	△ 7	7
業種											
建設業	△ 11	9	60	31	△ 22	△ 11	8	65	27	△ 19	3
製造業	△ 14	10	59	31	△ 21	△ 7	13	68	19	△ 6	15
卸売・小売業	△ 33	18	50	32	△ 14	19	12	62	26	△ 14	0
運輸業	△ 32	10	60	30	△ 20	12	9	61	30	△ 21	△ 1
サービス業	△ 10	15	59	26	△ 11	△ 1	11	70	19	△ 8	3
資本金											
5千万円未満	△ 26	12	59	29	△ 17	9	9	65	26	△ 17	0
5千万円以上~1億円未満	△ 6	16	48	36	△ 20	△ 14	14	64	22	△ 8	12
1億円以上	0	10	66	24	△ 14	△ 14	15	69	16	△ 1	13
地域											
道南	△ 19	12	57	31	△ 19	0	8	63	29	△ 21	△ 2
道央	△ 11	14	59	27	△ 13	△ 2	11	71	18	△ 7	6
札幌市を除く	△ 10	14	62	24	△ 10	0	9	75	16	△ 7	3
札幌市	△ 11	14	58	28	△ 14	△ 3	13	67	20	△ 7	7
道北	△ 31	8	57	35	△ 27	4	10	61	29	△ 19	8
オホーツク	△ 32	0	52	48	△ 48	△ 16	0	62	38	△ 38	10
十勝	△ 28	11	62	27	△ 16	12	13	65	22	△ 9	7
釧路・根室	△ 13	24	54	22	2	15	16	60	24	△ 8	△ 10

(4) 資金繰り

今期の資金繰りBSIは△8(前期から1ポイント上昇)

- ・ 業種別にみると、建設業、製造業はマイナス幅が拡大、卸売・小売業、運輸業、サービス業はマイナス幅が縮小。
- ・ 地域別にみると、道南、オホーツク、十勝、釧路・根室はマイナス幅が縮小、道央、道北はマイナス幅が拡大。

来期の資金繰りBSIは△7(今期から1ポイント上昇)



※「改善」「変化なし」「悪化」は%、BSIはポイント(「改善」-「悪化」)

表1-(4) 資金繰り(業種・資本金・地域別)

区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績					R6年10-12月見通し				
		改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅
総計	△9	4	84	12	△8	1	4	85	11	△7	1
札幌市を除く	△12	3	85	12	△9	3	4	84	12	△8	1
札幌市	△3	6	85	9	△3	0	4	89	7	△3	0
業種											
建設業	△2	2	90	8	△6	△4	4	87	9	△5	1
製造業	△3	5	82	13	△8	△5	4	84	12	△8	0
卸売・小売業	△17	3	81	16	△13	4	1	91	8	△7	6
運輸業	△19	3	87	10	△7	12	6	75	19	△13	△6
サービス業	△8	5	83	12	△7	1	4	87	9	△5	2
資本金											
5千万円未満	△16	4	83	13	△9	7	4	84	12	△8	1
5千万円以上~1億円未満	8	5	83	12	△7	△15	4	84	12	△8	△1
1億円以上	△3	2	93	5	△3	0	2	93	5	△3	0
地域											
道南	△9	8	80	12	△4	5	4	80	16	△12	△8
道央	△5	4	86	10	△6	△1	3	89	8	△5	1
札幌市を除く	△8	1	87	12	△11	△3	1	90	9	△8	3
札幌市	△3	6	85	9	△3	0	4	89	7	△3	0
道北	△15	3	76	21	△18	△3	4	79	17	△13	5
オホーツク	△10	0	100	0	0	10	0	97	3	△3	△3
十勝	△9	2	89	9	△7	2	7	86	7	0	7
釧路・根室	△20	4	84	12	△8	12	6	80	14	△8	0

2 雇用状況

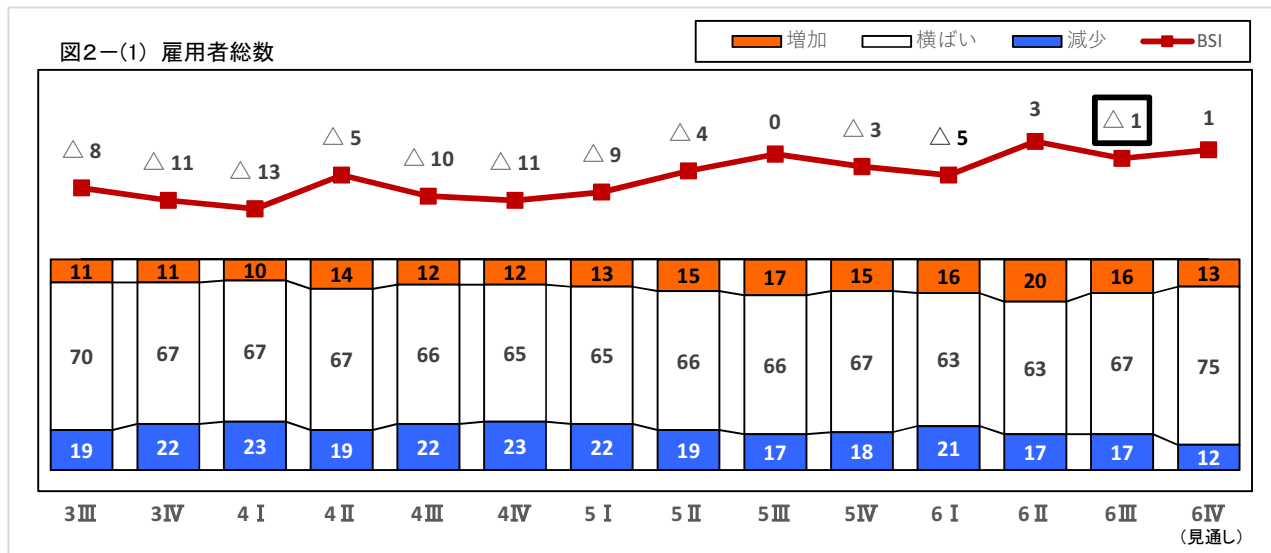
※昨年同時期との比較

(1) 雇用者総数

今期の雇用者総数BSIは△1(前期から4ポイント下降)

- ・ 業種別にみると、建設業、卸売・小売業はプラス幅が縮小、製造業はマイナス幅が拡大、運輸業はマイナス幅が縮小、サービス業はプラス幅が拡大。
- ・ 地域別にみると、道南は横ばい、道央、釧路・根室はプラス幅が縮小、道北、十勝はマイナスに転換、オホーツクはプラスに転換。

来期の雇用者総数BSIは1(今期から2ポイント上昇)



※「増加」「横ばい」「減少」は%、BSIはポイント(「増加」-「減少」)

表2-(1) 雇用者総数(業種・資本金・地域別)

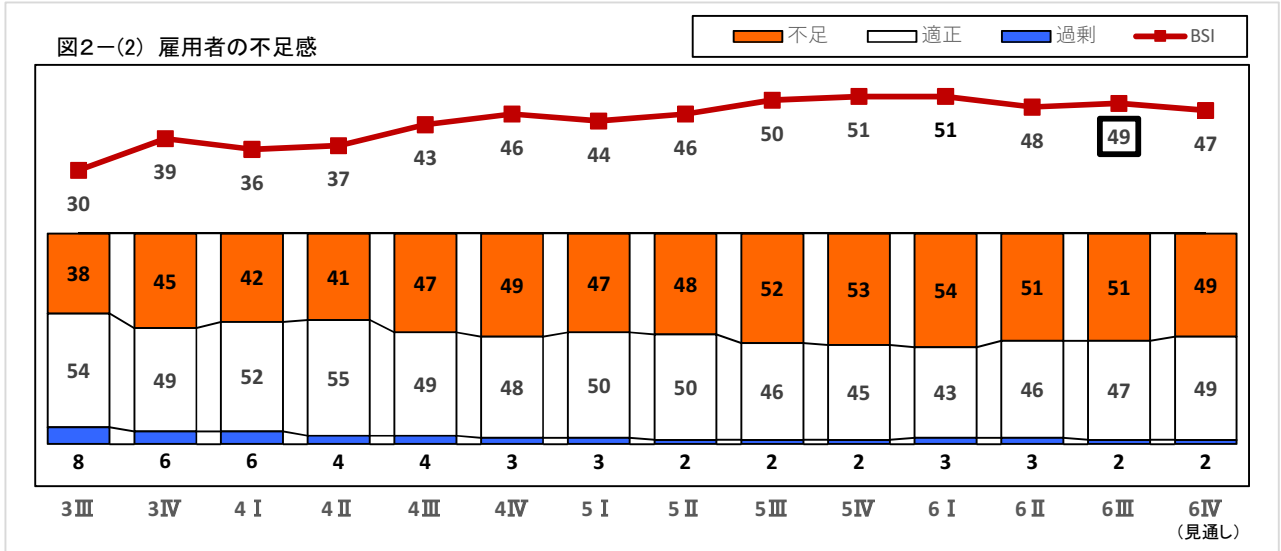
区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績					R6年10-12月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計	3	16	67	17	△1	△4	13	75	12	1	2
札幌市を除く	0	15	68	17	△2	△2	11	77	12	△1	1
札幌市	9	21	62	17	4	△5	17	74	9	8	4
業種											
建設業	22	21	61	18	3	△19	15	72	13	2	△1
製造業	△1	6	75	19	△13	△12	13	73	14	△1	12
卸売・小売業	8	14	73	13	1	△7	14	79	7	7	6
運輸業	△23	13	58	29	△16	7	6	73	21	△15	1
サービス業	1	22	68	10	12	11	14	79	7	7	△5
資本金											
5千万円未満	△3	12	71	17	△5	△2	8	80	12	△4	1
5千万円以上～1億円未満	17	22	62	16	6	△11	18	68	14	4	△2
1億円以上	9	29	52	19	10	1	27	63	10	17	7
地域											
道南	2	16	70	14	2	0	10	78	12	△2	△4
道央	5	18	67	15	3	△2	15	75	10	5	2
札幌市を除く	△1	15	71	14	1	2	13	77	10	3	2
札幌市	9	21	62	17	4	△5	17	74	9	8	4
道北	6	10	72	18	△8	△14	10	73	17	△7	1
オホーツク	△13	17	69	14	3	16	3	90	7	△4	△7
十勝	2	20	51	29	△9	△11	18	64	18	0	9
釧路・根室	2	14	72	14	0	△2	12	80	8	4	4

(2)雇用者の不足感

今期の雇用者の不足感BSIは 49(前期から1ポイント上昇)

- ・ 業種別にみると、建設業、製造業はプラス幅が拡大、卸売・小売業、運輸業、サービス業はプラス幅が縮小。
- ・ 地域別にみると、道南、道北、十勝、釧路・根室はプラス幅が拡大、道央、オホーツクはプラス幅が縮小。

来期の雇用者の不足感BSIは 47(今期から2ポイント下降)



※「不足」「適正」「過剰」は%、BSIはポイント(「不足」-「過剰」)

表2-(2) 雇用者の不足感(業種・資本金・地域別)

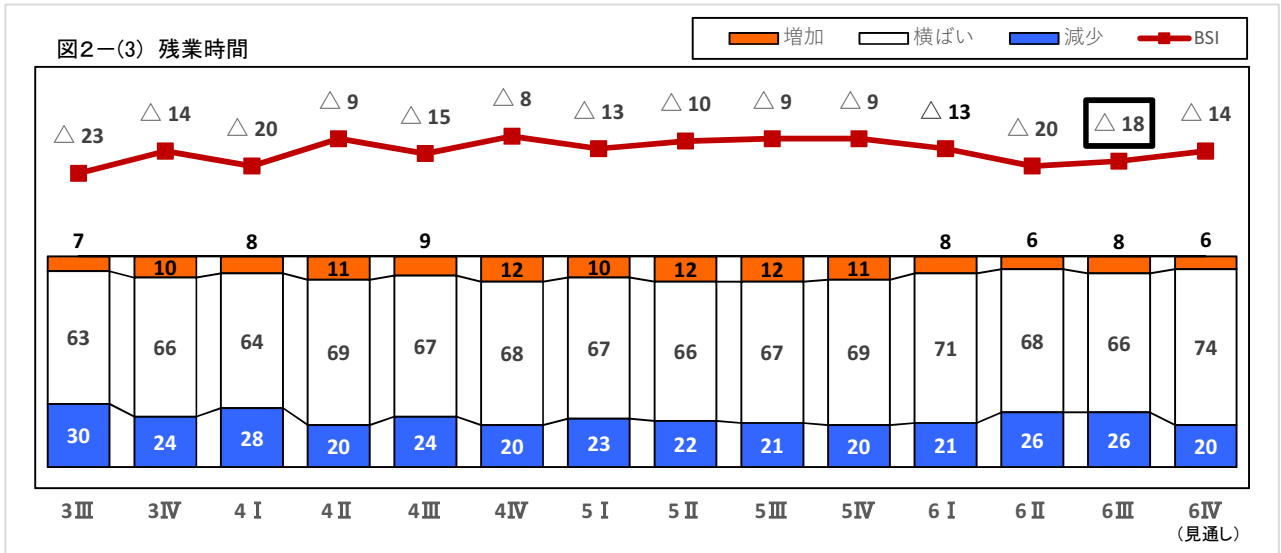
区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績					R6年10-12月見通し				
		不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総計	48	51	47	2	49	1	49	49	2	47	△2
札幌市を除く	46	51	48	1	50	4	48	51	1	47	△3
札幌市	55	54	42	4	50	△5	51	45	4	47	△3
業種											
建設業	61	69	31	0	69	8	69	31	0	69	0
製造業	35	45	51	4	41	6	37	59	4	33	△8
卸売・小売業	44	46	51	3	43	△1	41	55	4	37	△6
運輸業	61	51	49	0	51	△10	50	50	0	50	△1
サービス業	46	46	52	2	44	△2	45	53	2	43	△1
資本金											
5千万円未満	45	49	50	1	48	3	47	51	2	45	△3
5千万円以上～1億円未満	59	65	34	1	64	5	64	35	1	63	△1
1億円以上	52	48	49	3	45	△7	40	57	3	37	△8
地域											
道南	45	57	43	0	57	12	57	43	0	57	0
道央	49	48	49	3	45	△4	44	53	3	41	△4
札幌市を除く	41	41	58	1	40	△1	36	63	1	35	△5
札幌市	55	54	42	4	50	△5	51	45	4	47	△3
道北	52	57	40	3	54	2	53	44	3	50	△4
オホーツク	50	48	52	0	48	△2	41	59	0	41	△7
十勝	53	62	38	0	62	9	64	36	0	64	2
釧路・根室	35	44	56	0	44	9	42	56	2	40	△4

(3) 残業時間

今期の残業時間BSIは△18(前期から2ポイント上昇)

- ・ 業種別にみると、建設業、サービス業はマイナス幅が拡大、製造業、卸売・小売業、運輸業はマイナス幅が縮小。
- ・ 地域別にみると、道南、道央はマイナス幅が拡大、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室はマイナス幅が縮小。

来期の残業時間BSIは△14(今期から4ポイント上昇)



※「増加」「横ばい」「減少」は%、BSIはポイント(「増加」-「減少」)

表2-(3) 残業時間(業種・資本金・地域別)

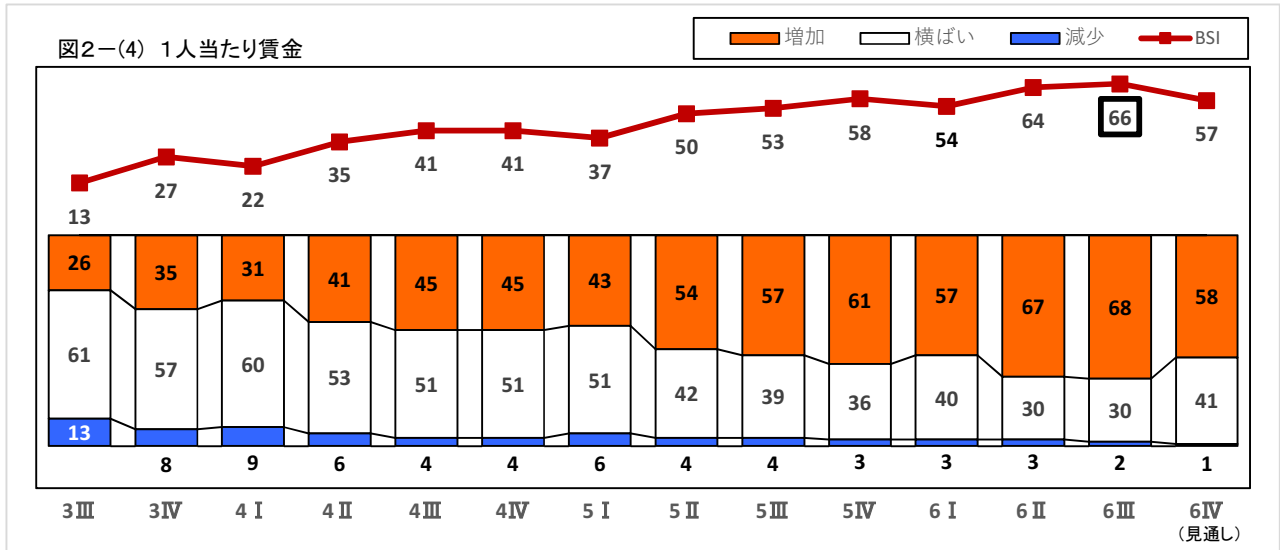
区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績					R6年10-12月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計	△ 20	8	66	26	△ 18	2	6	74	20	△ 14	4
札幌市を除く	△ 23	8	65	27	△ 19	4	6	73	21	△ 15	4
札幌市	△ 11	7	71	22	△ 15	△ 4	4	80	16	△ 12	3
業種											
建設業	△ 41	4	47	49	△ 45	△ 4	4	58	38	△ 34	11
製造業	△ 18	9	74	17	△ 8	10	1	84	15	△ 14	△ 6
卸売・小売業	△ 15	8	75	17	△ 9	6	5	84	11	△ 6	3
運輸業	△ 29	9	62	29	△ 20	9	10	67	23	△ 13	7
サービス業	△ 6	11	71	18	△ 7	△ 1	9	77	14	△ 5	2
資本金											
5千万円未満	△ 24	10	64	26	△ 16	8	8	73	19	△ 11	5
5千万円以上～1億円未満	△ 15	4	70	26	△ 22	△ 7	3	78	19	△ 16	6
1億円以上	△ 6	6	70	24	△ 18	△ 12	2	75	23	△ 21	△ 3
地域											
道南	△ 10	12	64	24	△ 12	△ 2	8	74	18	△ 10	2
道央	△ 12	8	68	24	△ 16	△ 4	5	77	18	△ 13	3
札幌市を除く	△ 13	8	66	26	△ 18	△ 5	6	73	21	△ 15	3
札幌市	△ 11	7	71	22	△ 15	△ 4	4	80	16	△ 12	3
道北	△ 32	13	59	28	△ 15	17	10	69	21	△ 11	4
オホーツク	△ 27	3	83	14	△ 11	16	3	87	10	△ 7	4
十勝	△ 33	4	60	36	△ 32	1	4	63	33	△ 29	3
釧路・根室	△ 24	6	66	28	△ 22	2	4	78	18	△ 14	8

(4) 1人当たり賃金

今期の1人当たり賃金BSIは66(前期から2ポイント上昇)

- ・ 業種別にみると、建設業、運輸業、サービス業はプラス幅が拡大、製造業はプラス幅が縮小、卸売・小売業は横ばい。
- ・ 地域別にみると、道南、オホーツク、十勝、釧路・根室はプラス幅が拡大、道央はプラス幅が縮小、道北は横ばい。

来期の1人当たり賃金BSIは57(今期から9ポイント下降)



※「増加」「横ばい」「減少」は%、BSIはポイント(「増加」-「減少」)

表2-(4) 1人当たり賃金(業種・資本金・地域別)

区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績					R6年10-12月見通し				
		増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総計	64	68	30	2	66	2	58	41	1	57	△9
札幌市を除く	60	66	32	2	64	4	56	42	2	54	△10
札幌市	75	75	24	1	74	△1	66	33	1	65	△9
業種											
建設業	78	81	19	0	81	3	65	35	0	65	△16
製造業	69	71	26	3	68	△1	59	37	4	55	△13
卸売・小売業	67	68	31	1	67	0	58	39	3	55	△12
運輸業	48	53	44	3	50	2	50	50	0	50	0
サービス業	59	64	34	2	62	3	59	40	1	58	△4
資本金											
5千万円未満	57	65	33	2	63	6	56	42	2	54	△9
5千万円以上~1億円未満	74	72	28	0	72	△2	62	38	0	62	△10
1億円以上	84	74	26	0	74	△10	68	32	0	68	△6
地域											
道南	56	61	37	2	59	3	55	43	2	53	△6
道央	70	66	33	1	65	△5	58	41	1	57	△8
札幌市を除く	63	57	42	1	56	△7	49	50	1	48	△8
札幌市	75	75	24	1	74	△1	66	33	1	65	△9
道北	69	72	25	3	69	0	65	31	4	61	△8
オホーツク	55	66	31	3	63	8	52	48	0	52	△11
十勝	59	67	31	2	65	6	58	42	0	58	△7
釧路・根室	55	74	26	0	74	19	58	42	0	58	△16

3 在庫、価格水準

※昨年同時期との比較

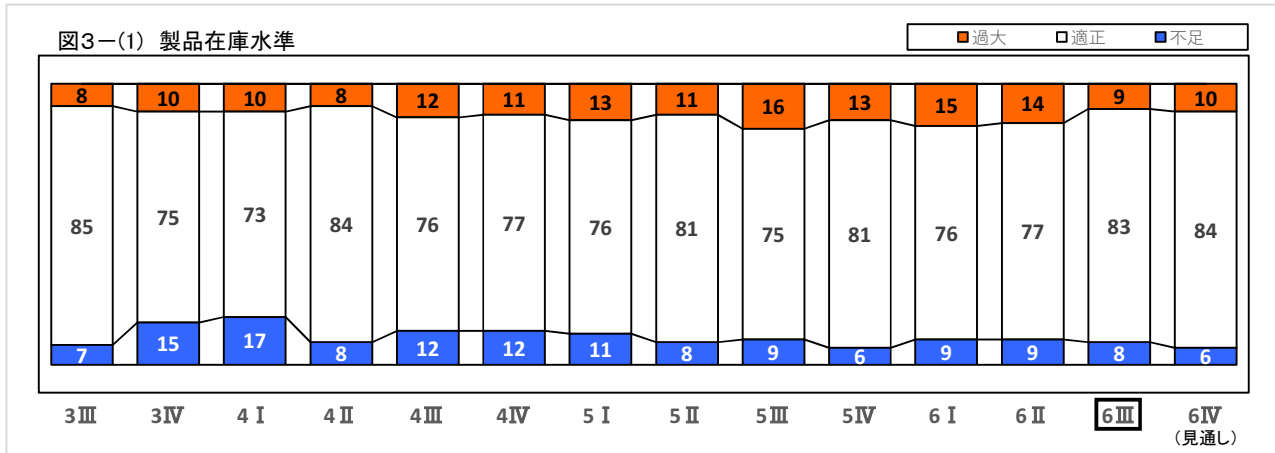
(1) 製造業

今期の実績

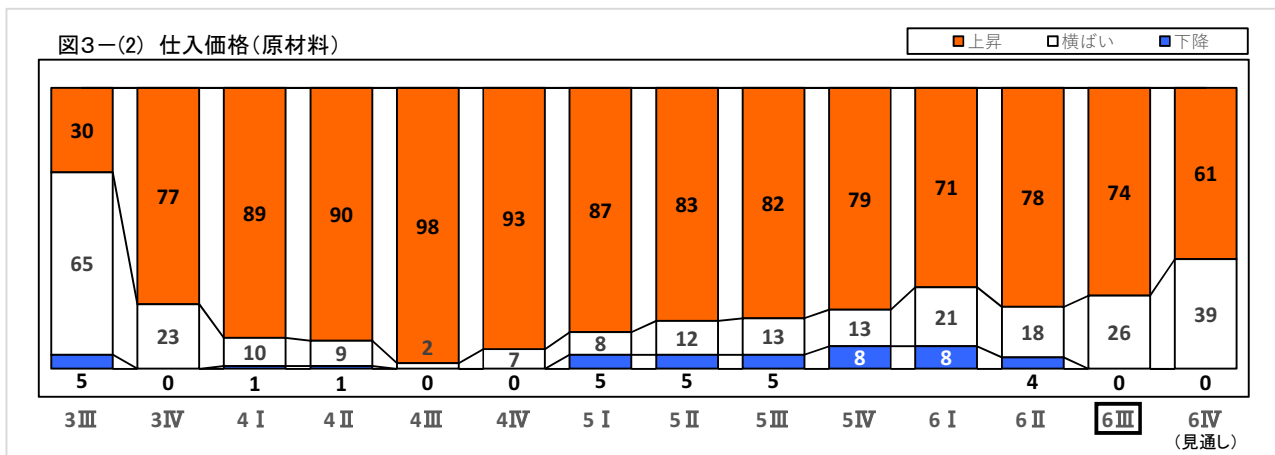
- ・ 製品在庫水準は、「適正」が最も多く83%で、前期から6ポイント上昇。
- ・ 仕入価格は、「上昇」が最も多く74%で、前期から4ポイント下降。
- ・ 製品価格は、「横ばい」が最も多く47%で、前期から横ばい。

来期の見通し

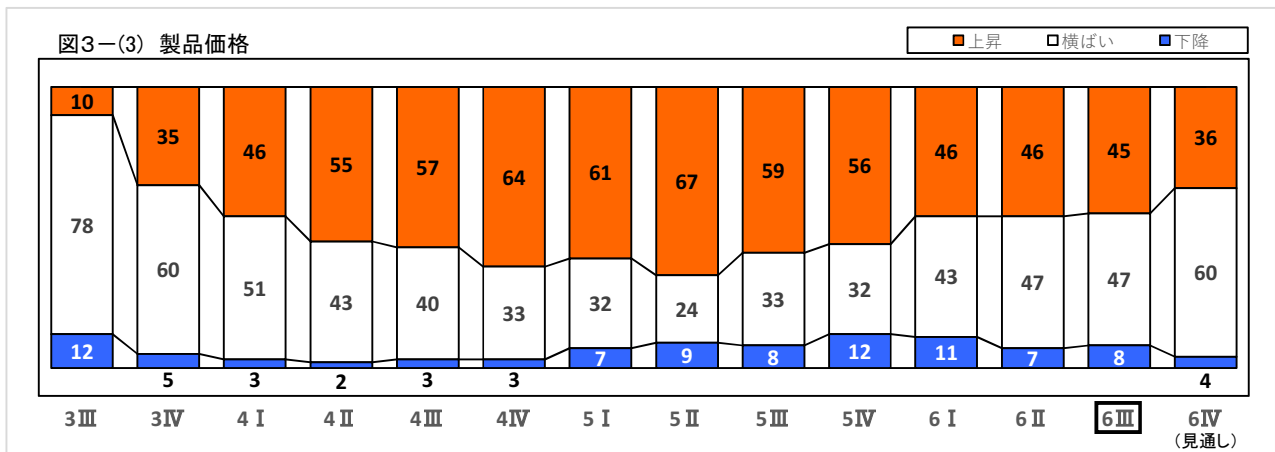
- ・ 仕入価格は、「上昇」が最も多く61%で、今期から13ポイント下降する見込み。
- ・ 製品価格は、「横ばい」が最も多く60%で、今期から13ポイント上昇する見込み。



※「過大」「適正」「不足」は%



※「上昇」「横ばい」「下降」は%



※「上昇」「横ばい」「下降」は%

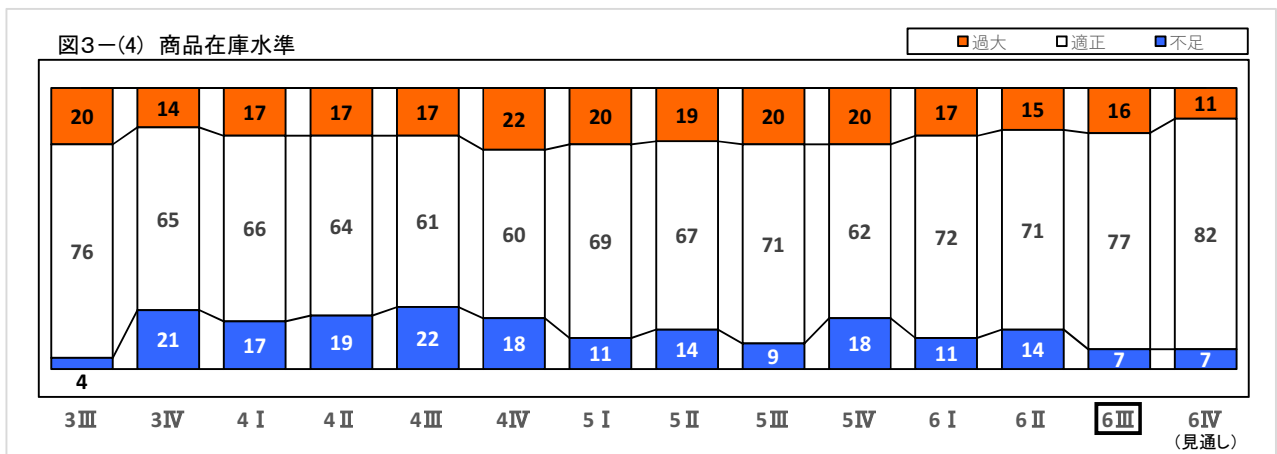
(2) 卸売・小売業

今期の実績

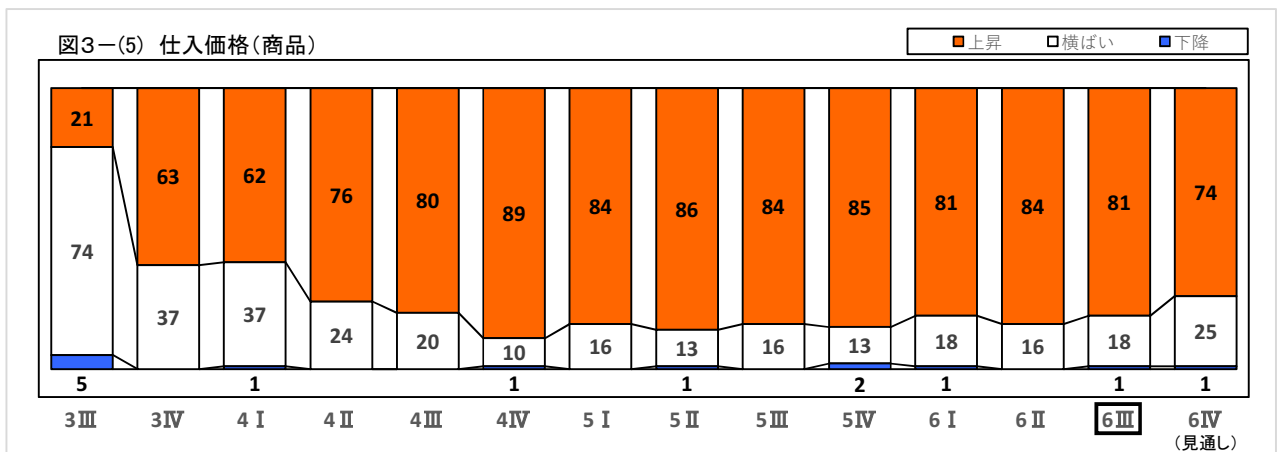
- ・ 商品在庫水準は、「適正」が最も多く77%で、前期から6ポイント上昇。
- ・ 仕入価格は、「上昇」が最も多く81%で、前期から3ポイント下降。
- ・ 商品価格は、「上昇」が最も多く66%で、前期から12ポイント下降。

来期の見通し

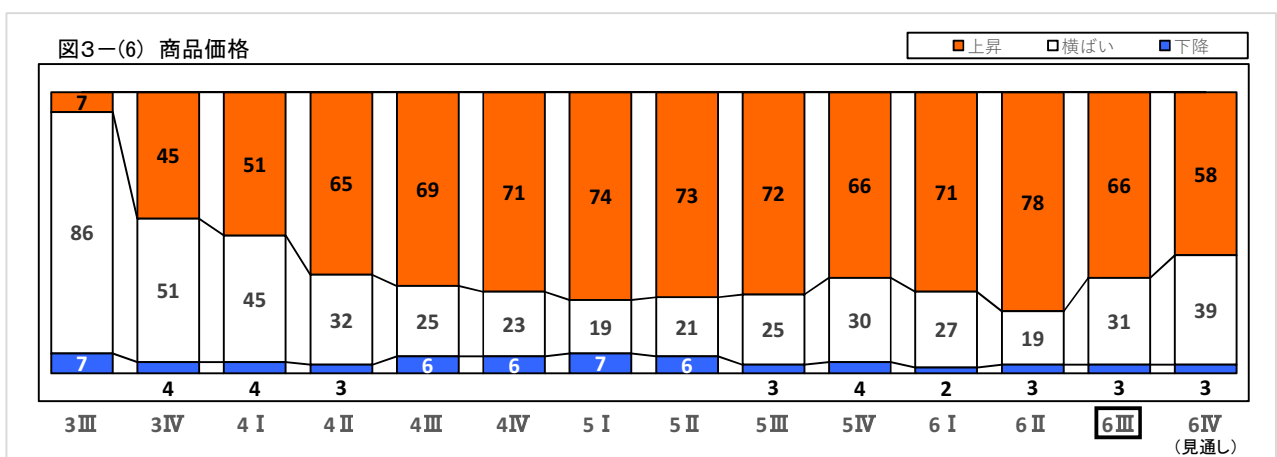
- ・ 仕入価格は、「上昇」が最も多く74%で、今期から7ポイント下降する見込み。
- ・ 商品価格は、「上昇」が最も多く58%で、今期から8ポイント下降する見込み。



※「過大」「適正」「不足」は%



※「上昇」「横ばい」「下降」は%



※「上昇」「横ばい」「下降」は%

4 設備投資の状況

今期の実績

- ・ 「設備投資をした」と回答した企業は36%で、前期から3ポイント下降。
- ・ 設備投資の目的については、「設備更新」が最も多く77%、次いで「合理化・省力化」が30%、「生産・販売能力拡大」が17%が続く。(複数回答)

来期の見通し

- ・ 「設備投資をする」と回答した企業は33%で、今期から3ポイント下降。
- ・ 設備投資の目的については、今期と同様の傾向。

図4-1) 設備投資の状況

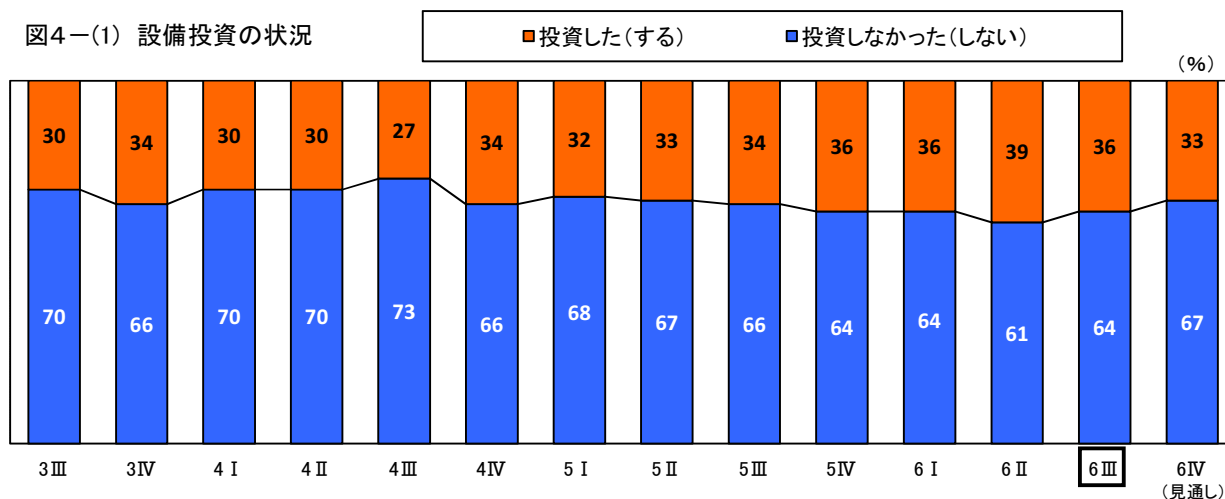


図4-2) 設備投資の目的(複数回答)

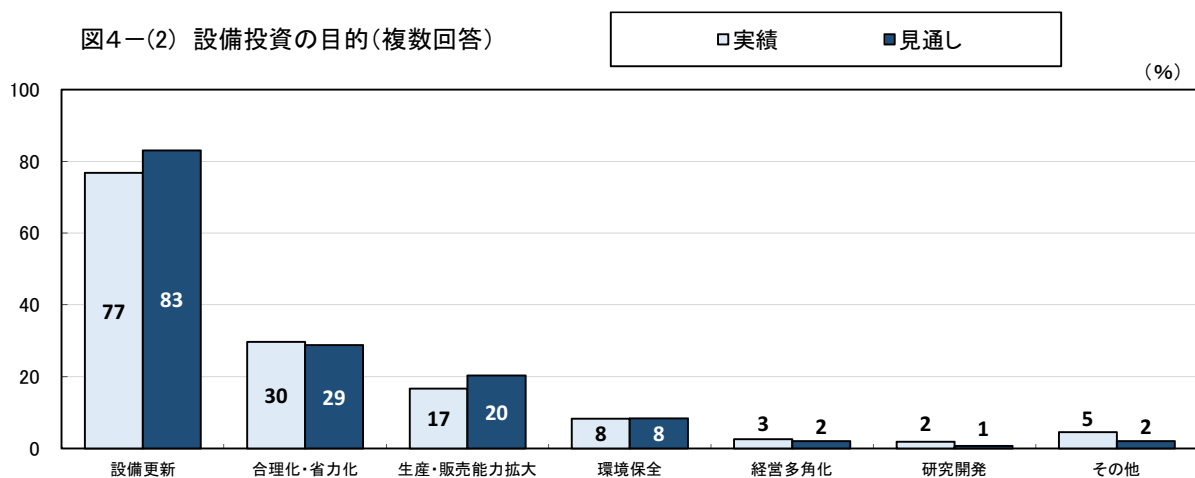


表4-(1) 設備投資の状況(R6年7-9月実績)(業種・資本金・地域別)

(%)

区分	R6年4-6月 設備投資した	R6年7-9月 設備投資した	設備投資の目的(複数回答)						
			設備 更新	合理化 省力化	生産・販 売能力 拡大	環境 保全	経 営 多角化	研究 開発	その他
総 計	39	36	77	30	17	8	3	2	5
札幌市を除く	36	36	78	28	17	8	3	0	5
札幌市	48	38	72	36	17	8	3	8	3
業 種									
建設業	35	34	69	38	21	3	3	3	7
製造業	44	49	79	34	24	8	3	0	0
卸売・小売業	38	32	71	33	17	13	8	0	8
運輸業	43	40	86	11	11	7	0	0	7
サービス業	35	31	78	31	11	11	0	6	3
資 本 金									
5千万円未満	34	33	71	24	18	8	4	1	6
5千万円以上～1億円未満	39	34	84	32	20	4	0	0	0
1億円以上	60	53	88	45	12	12	0	6	3
地 域									
道南	26	27	85	31	31	0	0	0	0
道央	43	39	75	32	14	11	3	4	4
札幌市を除く	36	41	77	29	11	14	3	0	6
札幌市	48	38	72	36	17	8	3	8	3
道北	39	33	83	29	29	8	4	0	4
オホーツク	35	24	71	43	14	0	0	0	0
十勝	41	49	86	27	9	9	0	0	0
釧路・根室	35	36	61	17	11	6	6	0	17

表4-(1) 設備投資の状況(R6年10-12月見通し)(業種・資本金・地域別)

(%)

区分	R6年10-12月 設備投資する	設備投資の目的(複数回答)						
		設備 更新	合理化 省力化	生産・販 売能力 拡大	環境 保全	経 営 多角化	研究 開発	その他
総 計	33	83	29	20	8	2	1	2
札幌市を除く	33	83	27	19	6	2	1	2
札幌市	36	82	35	24	18	3	0	3
業 種								
建設業	25	71	48	33	5	5	0	0
製造業	36	79	39	29	7	4	0	0
卸売・小売業	33	80	16	20	12	4	0	4
運輸業	40	93	14	7	4	0	0	7
サービス業	34	88	30	18	13	0	3	0
資 本 金								
5千万円未満	31	78	24	22	7	2	1	3
5千万円以上～1億円未満	34	92	24	20	8	4	0	0
1億円以上	45	93	50	14	14	0	0	0
地 域								
道南	31	73	33	40	0	0	7	0
道央	37	85	33	16	13	3	0	1
札幌市を除く	38	88	30	9	9	3	0	0
札幌市	36	82	35	24	18	3	0	3
道北	31	73	23	32	5	5	0	9
オホーツク	24	86	29	14	0	0	0	0
十勝	33	93	33	7	13	0	0	0
釧路・根室	32	88	13	19	0	0	0	0

(1) 道南

今期の業況感BSIは△8(前期から横ばい)

- ・ 業種別にみると、建設業は横ばい、製造業はマイナス幅が拡大、卸売・小売業、サービス業はマイナス幅が縮小、運輸業はプラス幅が縮小。

来期の業況感BSIは△8(今期から横ばい)

図5-(1) 地域別BSIの推移【道南】

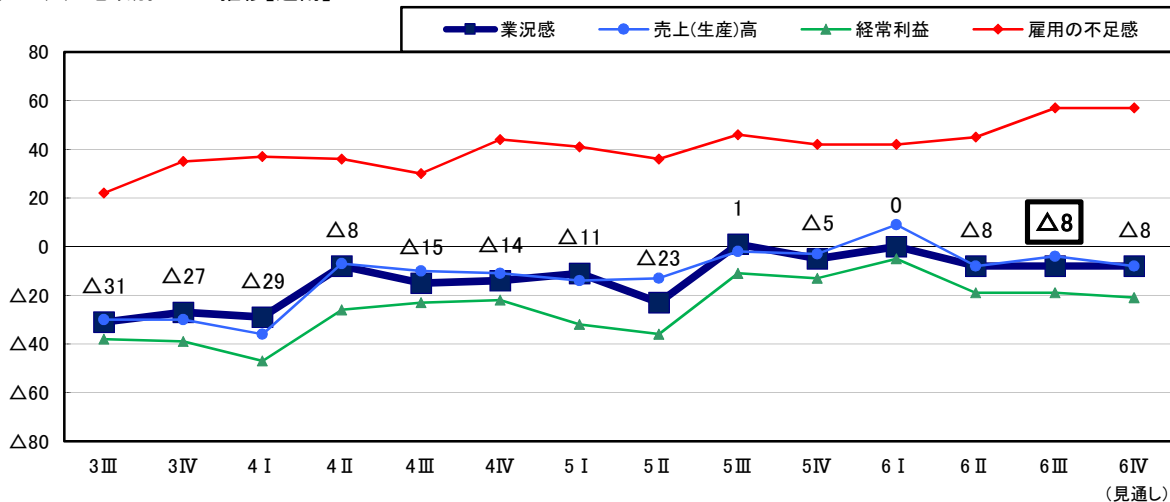


表5-(1) 地域別BSI【道南】

区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績						R6年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△ 8	12	68	20	△ 8	0	8	76	16	△ 8	0
	建設業	9	9	91	0	9	0	0	100	0	0	△ 9
	製造業	△ 8	13	49	38	△ 25	△ 17	25	62	13	12	37
	卸売・小売業	△ 27	20	50	30	△ 10	17	10	70	20	△ 10	0
	運輸業	16	17	66	17	0	△ 16	0	83	17	△ 17	△ 17
	サービス業	△ 15	7	72	21	△ 14	1	7	64	29	△ 22	△ 8
売上 (生産)高	全産業	△ 8	16	64	20	△ 4	4	12	68	20	△ 8	△ 4
	建設業	18	9	91	0	9	△ 9	9	91	0	9	0
	製造業	△ 8	13	49	38	△ 25	△ 17	25	37	38	△ 13	12
	卸売・小売業	△ 18	40	40	20	20	38	30	50	20	10	△ 10
	運輸業	0	17	50	33	△ 16	△ 16	0	67	33	△ 33	△ 17
	サービス業	△ 23	7	72	21	△ 14	9	0	79	21	△ 21	△ 7
経常利益	全産業	△ 19	12	57	31	△ 19	0	8	63	29	△ 21	△ 2
	建設業	18	9	73	18	△ 9	△ 27	0	91	9	△ 9	0
	製造業	△ 25	13	37	50	△ 37	△ 12	13	49	38	△ 25	12
	卸売・小売業	△ 27	20	50	30	△ 10	17	20	40	40	△ 20	△ 10
	運輸業	0	17	50	33	△ 16	△ 16	0	67	33	△ 33	△ 17
	サービス業	△ 46	7	64	29	△ 22	24	7	64	29	△ 22	0
雇用者の 不足感	全産業	45	57	43	0	57	12	57	43	0	57	0
	建設業	64	91	9	0	91	27	91	9	0	91	0
	製造業	33	38	62	0	38	5	25	75	0	25	△ 13
	卸売・小売業	55	50	50	0	50	△ 5	60	40	0	60	10
	運輸業	67	67	33	0	67	0	50	50	0	50	△ 17
	サービス業	23	43	57	0	43	20	50	50	0	50	7

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

(2) 道央

今期の業況感BSIは△2(前期から5ポイント上昇)

- ・ 業種別にみると、建設業はマイナス幅が拡大、製造業、卸売・小売業はマイナス幅が縮小、運輸業はプラスに転換、サービス業は横ばい。

来期の業況感BSIは0(今期から2ポイント上昇)

図5-(2) 地域別BSIの推移【道央】

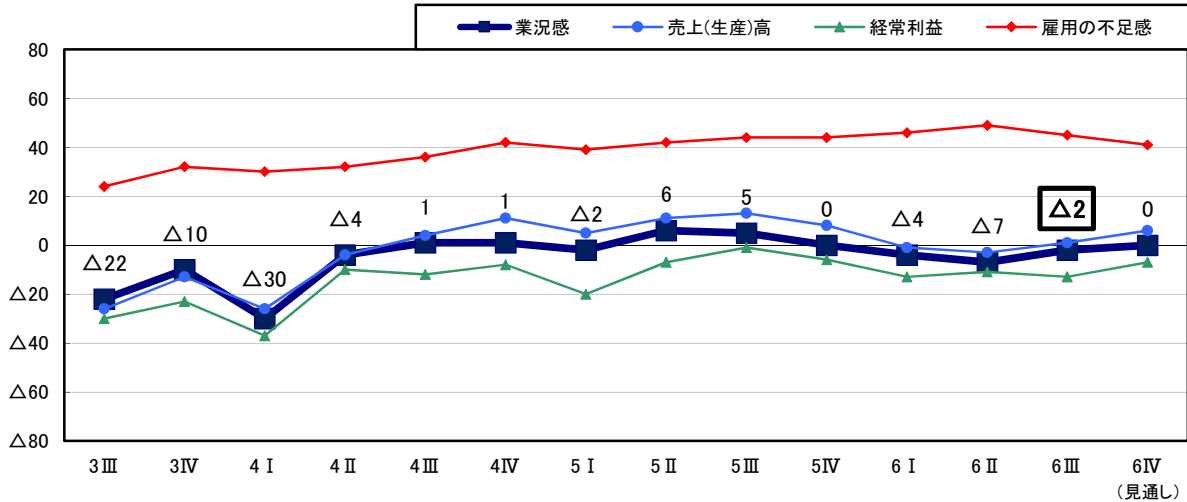


表5-(2) 地域別BSI【道央】

区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績						R6年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△7	14	70	16	△2	5	9	82	9	0	2
	建設業	△4	4	64	32	△28	△24	4	78	18	△14	14
	製造業	△21	10	67	23	△13	8	7	90	3	4	17
	卸売・小売業	△22	14	66	20	△6	16	6	77	17	△11	△5
	運輸業	△13	17	79	4	13	26	13	78	9	4	△9
	サービス業	10	18	74	8	10	0	12	83	5	7	△3
売上 (生産)高	全産業	△3	23	55	22	1	4	18	70	12	6	5
	建設業	0	4	60	36	△32	△32	7	68	25	△18	14
	製造業	△15	23	54	23	0	15	23	74	3	20	20
	卸売・小売業	△11	26	51	23	3	14	20	69	11	9	6
	運輸業	△13	22	61	17	5	18	22	61	17	5	0
	サービス業	8	29	54	17	12	4	17	74	9	8	△4
経常利益	全産業	△11	14	59	27	△13	△2	11	71	18	△7	6
	建設業	3	4	64	32	△28	△31	11	60	29	△18	10
	製造業	△6	10	67	23	△13	△7	7	86	7	0	13
	卸売・小売業	△26	17	52	31	△14	12	14	63	23	△9	5
	運輸業	△26	17	61	22	△5	21	13	61	26	△13	△8
	サービス業	△4	17	58	25	△8	△4	11	75	14	△3	5
雇用者の 不足感	全産業	49	48	49	3	45	△4	44	53	3	41	△4
	建設業	59	54	46	0	54	△5	54	46	0	54	0
	製造業	21	43	54	3	40	19	37	60	3	34	△6
	卸売・小売業	41	46	48	6	40	△1	40	51	9	31	△9
	運輸業	57	48	52	0	48	△9	43	57	0	43	△5
	サービス業	59	48	49	3	45	△14	45	53	2	43	△2

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

(2)－① 道央(札幌市を除く)

今期の業況感BSIは1(前期から10ポイント上昇)

- ・ 業種別にみると、建設業はマイナスに転換、製造業、卸売・小売業はマイナス幅が縮小、運輸業はプラスに転換、サービス業はプラス幅が拡大。

来期の業況感BSIは△1(今期から2ポイント下降)

図5-(2)-① 地域別BSIの推移【道央(札幌市を除く)】

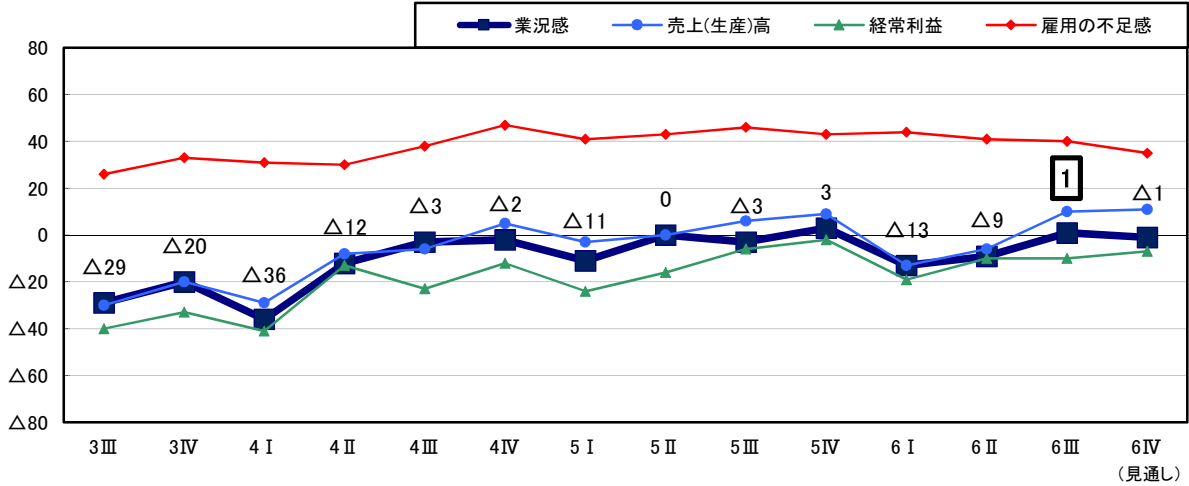


表5-(2)-① 地域別BSI【道央(札幌市を除く)】

区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績						R6年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△ 9	16	69	15	1	10	7	85	8	△ 1	△ 2
	建設業	9	0	73	27	△ 27	△ 36	0	91	9	△ 9	18
	製造業	△ 32	6	66	28	△ 22	10	6	94	0	6	28
	卸売・小売業	△ 28	18	64	18	0	28	0	82	18	△ 18	△ 18
	運輸業	△ 7	14	79	7	7	14	14	72	14	0	△ 7
	サービス業	10	31	65	4	27	17	12	84	4	8	△ 19
売上 (生産)高	全産業	△ 6	29	52	19	10	16	21	69	10	11	1
	建設業	16	0	73	27	△ 27	△ 43	0	100	0	0	27
	製造業	△ 26	22	56	22	0	26	33	61	6	27	27
	卸売・小売業	△ 23	35	53	12	23	46	24	64	12	12	△ 11
	運輸業	△ 8	21	50	29	△ 8	0	21	50	29	△ 8	0
	サービス業	10	46	42	12	34	24	19	73	8	11	△ 23
経常利益	全産業	△ 10	14	62	24	△ 10	0	9	75	16	△ 7	3
	建設業	8	0	73	27	△ 27	△ 35	0	91	9	△ 9	18
	製造業	△ 21	0	72	28	△ 28	△ 7	6	88	6	0	28
	卸売・小売業	△ 24	24	58	18	6	30	12	70	18	△ 6	△ 12
	運輸業	△ 23	14	50	36	△ 22	1	14	50	36	△ 22	0
	サービス業	3	23	58	19	4	1	12	73	15	△ 3	△ 7
雇用者の 不足感	全産業	41	41	58	1	40	△ 1	36	63	1	35	△ 5
	建設業	58	36	64	0	36	△ 22	36	64	0	36	0
	製造業	21	44	50	6	38	17	33	61	6	27	△ 11
	卸売・小売業	24	29	71	0	29	5	29	71	0	29	0
	運輸業	38	50	50	0	50	12	43	57	0	43	△ 7
	サービス業	58	42	58	0	42	△ 16	38	62	0	38	△ 4

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

(2)－② 道央(札幌市)

今期の業況感BSIは△5(前期から1ポイント下降)

- ・ 業種別にみると、建設業はマイナス幅が拡大、製造業、卸売・小売業はマイナス幅が縮小、運輸業はプラスに転換、サービス業はプラス幅が縮小。

来期の業況感BSIは0(今期から5ポイント上昇)

図5-(2)-② 地域別BSIの推移【道央(札幌市)】

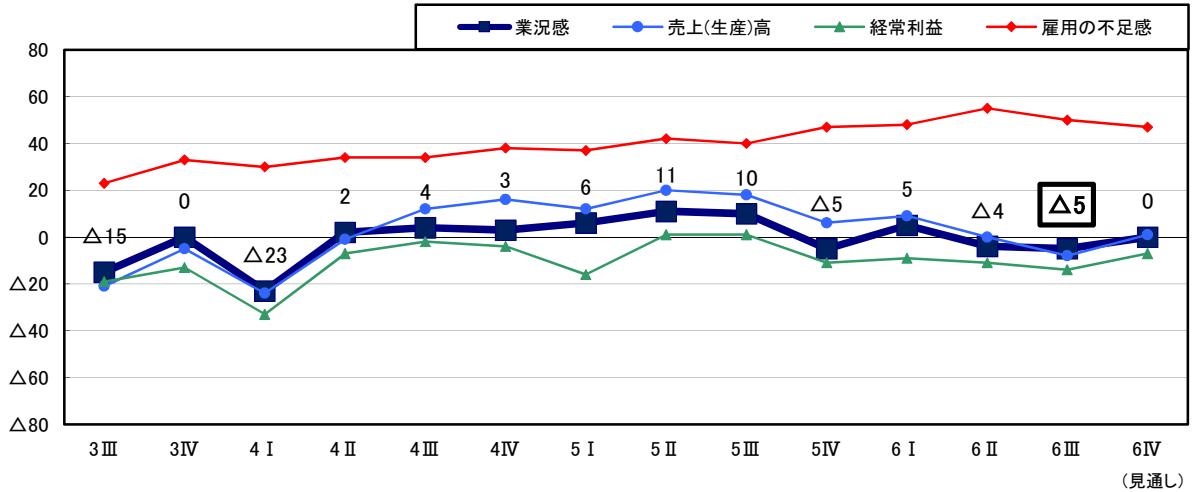


表5-(2)-② 地域別BSI【道央(札幌市)】

区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績						R6年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△ 4	12	71	17	△ 5	△ 1	11	78	11	0	5
	建設業	△ 12	6	59	35	△ 29	△ 17	6	70	24	△ 18	11
	製造業	△ 7	17	66	17	0	7	8	84	8	0	0
	卸売・小売業	△ 16	11	67	22	△ 11	5	11	72	17	△ 6	5
	運輸業	△ 20	22	78	0	22	42	11	89	0	11	△ 11
	サービス業	10	10	80	10	0	△ 10	13	82	5	8	8
売上 (生産)高	全産業	0	17	58	25	△ 8	△ 8	15	71	14	1	9
	建設業	△ 12	6	53	41	△ 35	△ 23	12	47	41	△ 29	6
	製造業	0	25	50	25	0	0	8	92	0	8	8
	卸売・小売業	0	17	50	33	△ 16	△ 16	17	72	11	6	22
	運輸業	△ 20	22	78	0	22	42	22	78	0	22	0
	サービス業	6	18	61	21	△ 3	△ 9	15	75	10	5	8
経常利益	全産業	△ 11	14	58	28	△ 14	△ 3	13	67	20	△ 7	7
	建設業	0	6	59	35	△ 29	△ 29	18	41	41	△ 23	6
	製造業	15	25	58	17	8	△ 7	8	84	8	0	△ 8
	卸売・小売業	△ 28	11	45	44	△ 33	△ 5	17	55	28	△ 11	22
	運輸業	△ 30	22	78	0	22	52	11	78	11	0	△ 22
	サービス業	△ 9	13	59	28	△ 15	△ 6	10	77	13	△ 3	12
雇用者の 不足感	全産業	55	54	42	4	50	△ 5	51	45	4	47	△ 3
	建設業	59	65	35	0	65	6	65	35	0	65	0
	製造業	22	42	58	0	42	20	42	58	0	42	0
	卸売・小売業	56	61	28	11	50	△ 6	50	33	17	33	△ 17
	運輸業	80	44	56	0	44	△ 36	44	56	0	44	0
	サービス業	60	51	44	5	46	△ 14	49	48	3	46	0

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

(3) 道北

今期の業況感BSIは△22(前期から1ポイント上昇)

- ・ 業種別にみると、建設業はマイナス幅が拡大、製造業、卸売・小売業、運輸業、サービス業はマイナス幅が縮小。

来期の業況感BSIは△21(今期から1ポイント上昇)

図5-(3) 地域別BSIの推移【道北】

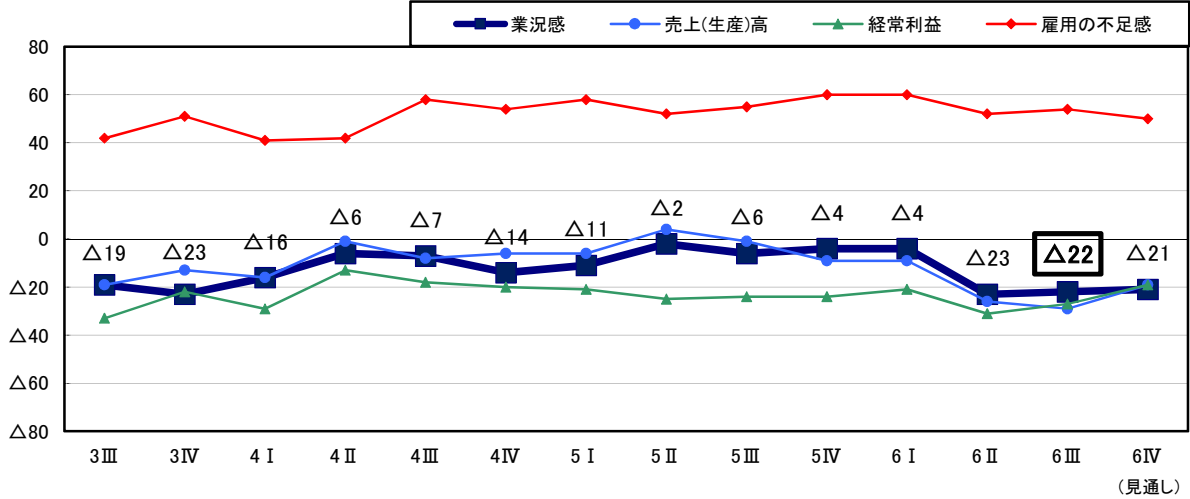


表5-(3) 地域別BSI【道北】

区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績						R6年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△ 23	4	70	26	△ 22	1	1	77	22	△ 21	1
	建設業	0	8	77	15	△ 7	△ 7	8	77	15	△ 7	0
	製造業	△ 31	0	71	29	△ 29	2	0	82	18	△ 18	11
	卸売・小売業	△ 42	0	64	36	△ 36	6	0	82	18	△ 18	18
	運輸業	△ 36	0	71	29	△ 29	7	0	71	29	△ 29	0
	サービス業	△ 12	14	65	21	△ 7	5	0	71	29	△ 29	△ 22
売上 (生産)高	全産業	△ 26	7	57	36	△ 29	△ 3	7	67	26	△ 19	10
	建設業	△ 7	8	69	23	△ 15	△ 8	8	61	31	△ 23	△ 8
	製造業	△ 25	0	53	47	△ 47	△ 22	12	59	29	△ 17	30
	卸売・小売業	△ 42	0	45	55	△ 55	△ 13	0	91	9	△ 9	46
	運輸業	△ 36	6	59	35	△ 29	7	6	65	29	△ 23	6
	サービス業	△ 23	21	58	21	0	23	7	64	29	△ 22	△ 22
経常利益	全産業	△ 31	8	57	35	△ 27	4	10	61	29	△ 19	8
	建設業	△ 26	15	54	31	△ 16	10	15	54	31	△ 16	0
	製造業	△ 25	0	59	41	△ 41	△ 16	12	64	24	△ 12	29
	卸売・小売業	△ 58	18	64	18	0	58	9	82	9	0	0
	運輸業	△ 50	0	53	47	△ 47	3	0	53	47	△ 47	0
	サービス業	△ 5	14	57	29	△ 15	△ 10	14	57	29	△ 15	0
雇用者の 不足感	全産業	52	57	40	3	54	2	53	44	3	50	△ 4
	建設業	73	92	8	0	92	19	92	8	0	92	0
	製造業	44	47	41	12	35	△ 9	41	47	12	29	△ 6
	卸売・小売業	34	55	45	0	55	21	36	64	0	36	△ 19
	運輸業	64	65	35	0	65	1	65	35	0	65	0
	サービス業	47	29	71	0	29	△ 18	29	71	0	29	0

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

(4) オホーツク

今期の業況感BSIは△25(前期から横ばい)

- ・ 業種別にみると、建設業、卸売・小売業はマイナス幅が縮小、製造業、運輸業はマイナス幅が拡大、サービス業は横ばい。

来期の業況感BSIは△21(今期から4ポイント上昇)

図5-(4) 地域別BSIの推移【オホーツク】

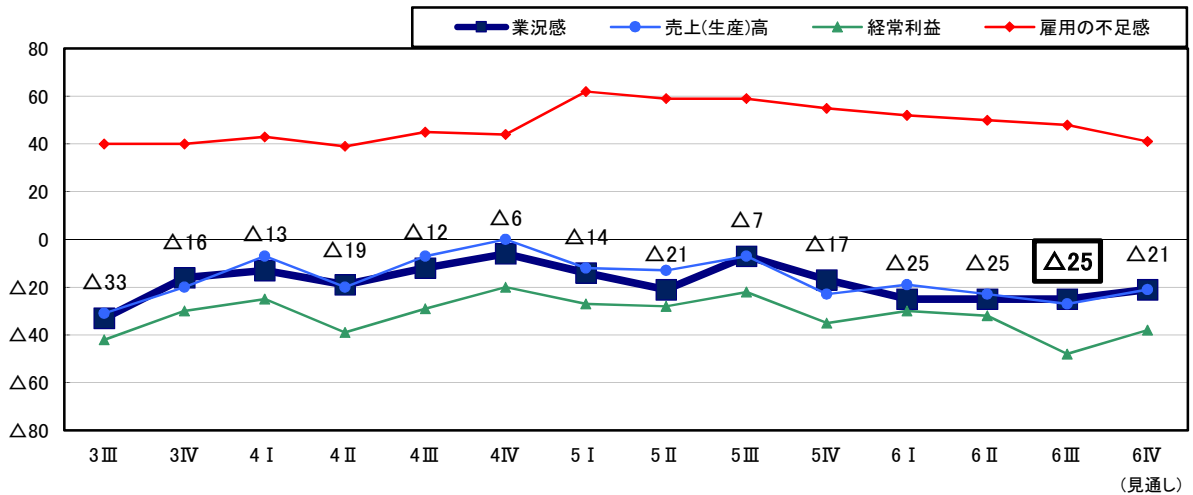


表5-(4) 地域別BSI(オホーツク)

区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績						R6年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△ 25	3	69	28	△ 25	0	3	73	24	△ 21	4
	建設業	△ 50	0	67	33	△ 33	17	0	67	33	△ 33	0
	製造業	△ 38	0	50	50	△ 50	△ 12	0	50	50	△ 50	0
	卸売・小売業	△ 22	0	86	14	△ 14	8	0	100	0	0	14
	運輸業	△ 15	17	50	33	△ 16	△ 1	17	66	17	0	16
	サービス業	0	0	100	0	0	0	0	75	25	△ 25	△ 25
売上 (生産)高	全産業	△ 23	7	59	34	△ 27	△ 4	7	65	28	△ 21	6
	建設業	△ 50	0	50	50	△ 50	0	0	67	33	△ 33	17
	製造業	△ 50	0	50	50	△ 50	0	0	50	50	△ 50	0
	卸売・小売業	△ 22	14	57	29	△ 15	7	14	57	29	△ 15	0
	運輸業	0	17	50	33	△ 16	△ 16	17	66	17	0	16
	サービス業	12	0	100	0	0	△ 12	0	100	0	0	0
経常利益	全産業	△ 32	0	52	48	△ 48	△ 16	0	62	38	△ 38	10
	建設業	△ 50	0	50	50	△ 50	0	0	67	33	△ 33	17
	製造業	△ 50	0	50	50	△ 50	0	0	50	50	△ 50	0
	卸売・小売業	△ 22	0	43	57	△ 57	△ 35	0	57	43	△ 43	14
	運輸業	△ 29	0	50	50	△ 50	△ 21	0	67	33	△ 33	17
	サービス業	△ 13	0	75	25	△ 25	△ 12	0	75	25	△ 25	0
雇用者の 不足感	全産業	50	48	52	0	48	△ 2	41	59	0	41	△ 7
	建設業	63	83	17	0	83	20	83	17	0	83	0
	製造業	63	33	67	0	33	△ 30	0	100	0	0	△ 33
	卸売・小売業	33	0	100	0	0	△ 33	0	100	0	0	0
	運輸業	86	67	33	0	67	△ 19	67	33	0	67	0
	サービス業	12	75	25	0	75	63	75	25	0	75	0

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

(5) 十勝

今期の業況感BSIは△7(前期から10ポイント上昇)

- ・ 業種別にみると、建設業、製造業、卸売・小売業はマイナス幅が縮小、運輸業、サービス業は横ばい。

来期の業況感BSIは△2(今期から5ポイント上昇)

図5-(5) 地域別BSIの推移【十勝】

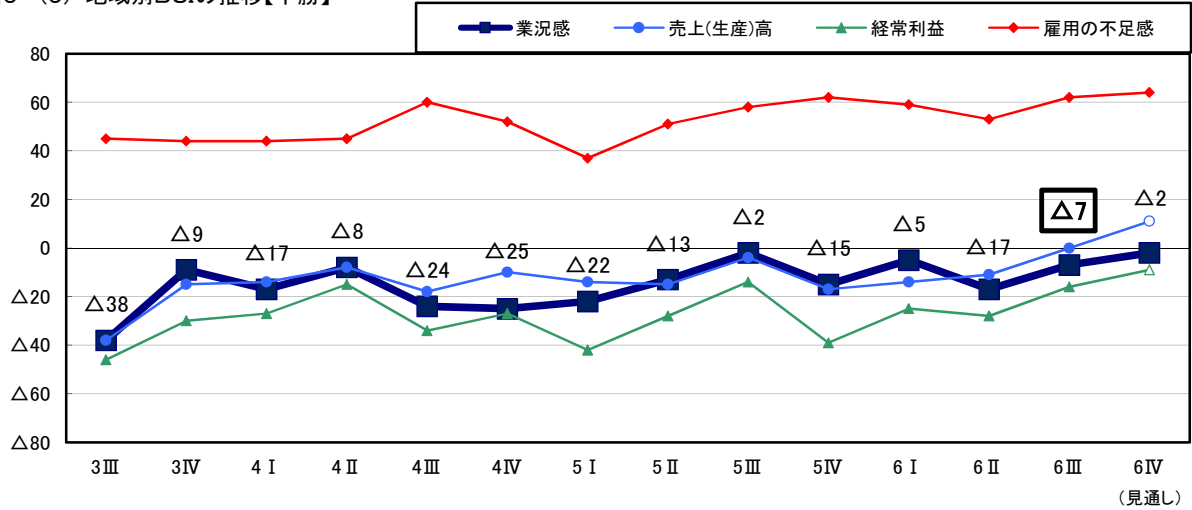


表5-(5) 地域別BSI(十勝)

区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績						R6年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△ 17	9	75	16	△ 7	10	9	80	11	△ 2	5
	建設業	△ 18	15	62	23	△ 8	10	15	62	23	△ 8	0
	製造業	△ 22	0	83	17	△ 17	5	0	83	17	△ 17	0
	卸売・小売業	△ 45	0	83	17	△ 17	28	0	83	17	△ 17	0
	運輸業	0	13	74	13	0	0	13	87	0	13	13
	サービス業	0	8	84	8	0	0	8	92	0	8	8
売上 (生産)高	全産業	△ 11	20	60	20	0	11	20	71	9	11	11
	建設業	△ 9	15	62	23	△ 8	1	15	70	15	0	8
	製造業	△ 11	17	50	33	△ 16	△ 5	50	33	17	33	49
	卸売・小売業	△ 36	33	50	17	16	52	0	83	17	△ 17	△ 33
	運輸業	△ 10	25	62	13	12	22	25	75	0	25	13
	サービス業	7	17	66	17	0	△ 7	17	83	0	17	17
経常利益	全産業	△ 28	11	62	27	△ 16	12	13	65	22	△ 9	7
	建設業	△ 27	15	70	15	0	27	15	70	15	0	0
	製造業	△ 11	0	67	33	△ 33	△ 22	17	66	17	0	33
	卸売・小売業	△ 55	17	33	50	△ 33	22	0	50	50	△ 50	△ 17
	運輸業	△ 30	0	62	38	△ 38	△ 8	13	49	38	△ 25	13
	サービス業	△ 15	17	66	17	0	15	17	75	8	9	9
雇用者の 不足感	全産業	53	62	38	0	62	9	64	36	0	64	2
	建設業	55	62	38	0	62	7	62	38	0	62	0
	製造業	33	50	50	0	50	17	50	50	0	50	0
	卸売・小売業	64	67	33	0	67	3	67	33	0	67	0
	運輸業	70	63	37	0	63	△ 7	75	25	0	75	12
	サービス業	46	67	33	0	67	21	67	33	0	67	0

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

(6) 釧路・根室

今期の業況感BSIは△2(前期から16ポイント上昇)

- ・ 業種別にみると、建設業はマイナス幅が拡大、製造業は横ばい、卸売・小売業、運輸業はプラスに転換、サービス業はプラス幅が拡大。

来期の業況感BSIは0(今期から2ポイント上昇)

図5-(6) 地域別BSIの推移【釧路・根室】

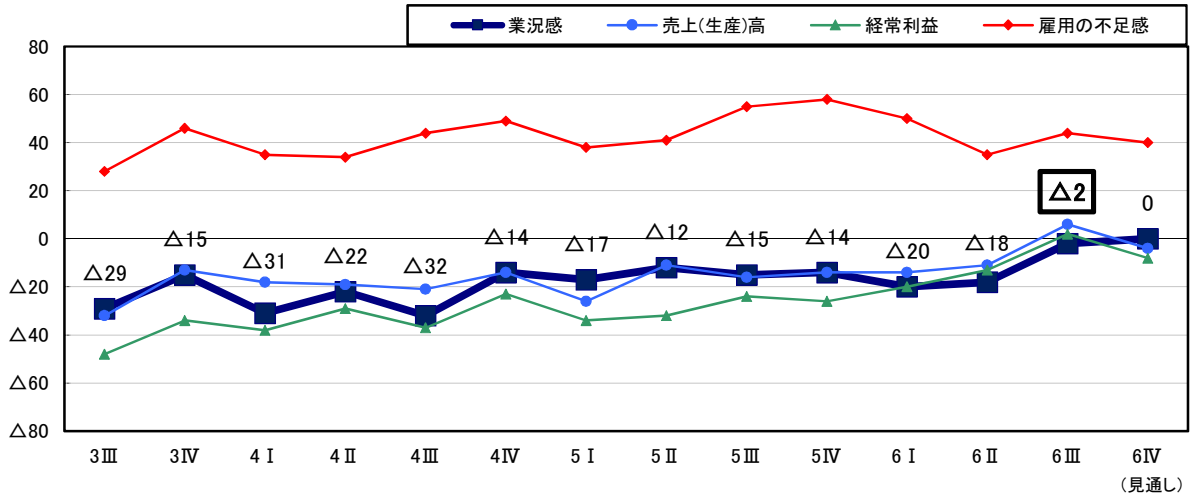


表5-(6) 地域別BSI(釧路・根室)

区分	R6年4-6月実績	R6年7-9月実績						R6年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	
業況感	全産業	△18	20	58	22	△2	16	16	68	16	0	2
	建設業	△27	0	57	43	△43	△16	7	64	29	△22	21
	製造業	△18	18	46	36	△18	0	27	55	18	9	27
	卸売・小売業	△20	57	29	14	43	63	14	72	14	0	△43
	運輸業	△22	20	80	0	20	42	20	80	0	20	0
	サービス業	0	25	75	0	25	25	13	74	13	0	△25
売上(生産)高	全産業	△11	26	54	20	6	17	16	64	20	△4	△10
	建設業	△9	14	43	43	△29	△20	0	71	29	△29	0
	製造業	△9	27	46	27	0	9	27	37	36	△9	△9
	卸売・小売業	△20	57	29	14	43	63	29	57	14	15	△28
	運輸業	△22	20	80	0	20	42	20	80	0	20	0
	サービス業	0	25	75	0	25	25	13	74	13	0	△25
経常利益	全産業	△13	24	54	22	2	15	16	60	24	△8	△10
	建設業	△9	14	43	43	△29	△20	0	57	43	△43	△14
	製造業	9	36	55	9	27	18	36	46	18	18	△9
	卸売・小売業	△20	43	43	14	29	49	14	72	14	0	△29
	運輸業	△44	20	80	0	20	64	20	80	0	20	0
	サービス業	△10	13	49	38	△25	△15	13	49	38	△25	0
雇用者の不足感	全産業	35	44	56	0	44	9	42	56	2	40	△4
	建設業	55	64	36	0	64	9	64	36	0	64	0
	製造業	46	55	45	0	55	9	55	45	0	55	0
	卸売・小売業	40	57	43	0	57	17	43	57	0	43	△14
	運輸業	33	10	90	0	10	△23	10	90	0	10	0
	サービス業	0	25	75	0	25	25	25	62	13	12	△13

※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

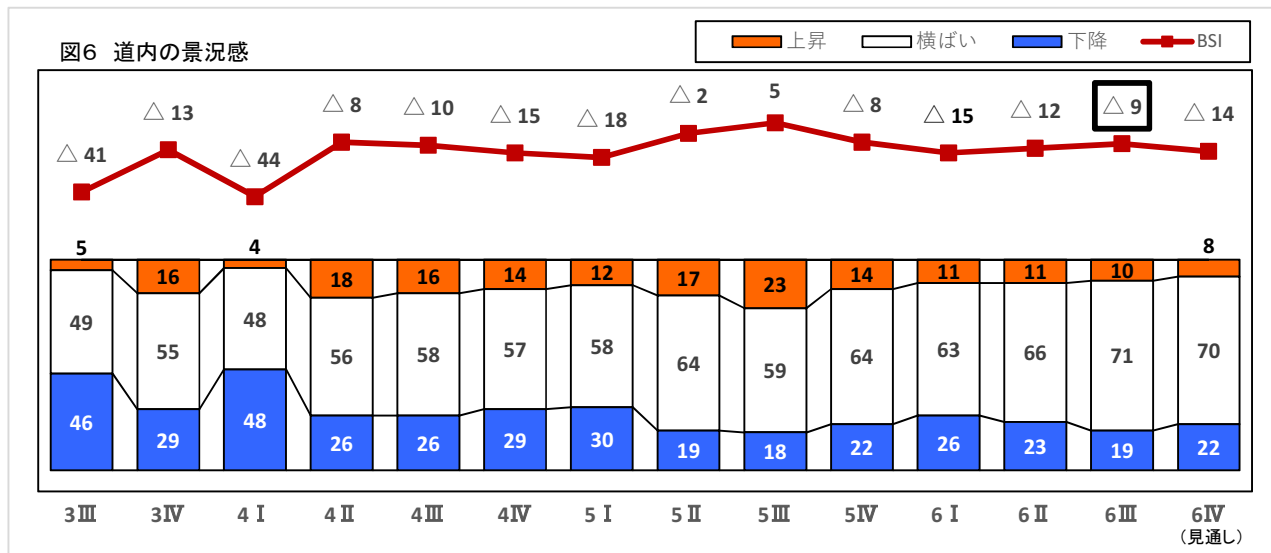
6 道内の景況感(景気の状態)

※直前の四半期との比較

今期の景況感BSIは△9(前期から3ポイント上昇)

- ・ 業種別にみると、建設業、卸売・小売業はマイナス幅が拡大、製造業、運輸業はマイナス幅が縮小、サービス業はプラスに転換。
- ・ 地域別にみると、道南、道北、オホーツクはマイナス幅が拡大、道央、十勝、釧路・根室はマイナス幅が縮小。

来期の景況感BSIは△14(今期から5ポイント下降)



※「上昇」「横ばい」「下降」は%、BSIはポイント(「上昇」-「下降」)

表6 道内の景況感(業種・資本金・地域別)

区分	R6年 4-6月 実績	R6年7-9月実績					R6年10-12月見通し				
		上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総計	△ 12	10	71	19	△ 9	3	8	70	22	△ 14	△ 5
札幌市を除く	△ 14	9	71	20	△ 11	3	8	68	24	△ 16	△ 5
札幌市	△ 6	13	71	16	△ 3	3	7	80	13	△ 6	△ 3
建設業	△ 8	5	74	21	△ 16	△ 8	4	71	25	△ 21	△ 5
製造業	△ 15	9	74	17	△ 8	7	5	77	18	△ 13	△ 5
卸売・小売業	△ 13	9	66	25	△ 16	△ 3	7	69	24	△ 17	△ 1
運輸業	△ 17	7	72	21	△ 14	3	13	66	21	△ 8	6
サービス業	△ 9	17	70	13	4	13	9	70	21	△ 12	△ 16
資本金											
5千万円未満	△ 19	11	66	23	△ 12	7	7	65	28	△ 21	△ 9
5千万円以上~1億円未満	△ 6	9	80	11	△ 2	4	11	80	9	2	4
1億円以上	15	8	84	8	0	△ 15	8	87	5	3	3
地域											
道南	△ 6	8	76	16	△ 8	△ 2	8	72	20	△ 12	△ 4
道央	△ 10	12	72	16	△ 4	6	8	75	17	△ 9	△ 5
札幌市を除く	△ 14	12	72	16	△ 4	10	9	69	22	△ 13	△ 9
札幌市	△ 6	13	71	16	△ 3	3	7	80	13	△ 6	△ 3
道北	△ 18	4	71	25	△ 21	△ 3	8	63	29	△ 21	0
オホーツク	△ 15	10	62	28	△ 18	△ 3	3	76	21	△ 18	0
十勝	△ 17	7	73	20	△ 13	4	7	64	29	△ 22	△ 9
釧路・根室	△ 15	16	68	16	0	15	6	72	22	△ 16	△ 16

7 業種・地域別企業経営者の声(令和6年7-9月)

【建設業】

道南	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人手不足が深刻化する中、工事のスケジュール調整が困難。(建設業) ・ 生産性向上を図りたいが、人手不足の中では、人材育成に取り組む余力がない。(土木工事業) ・ 今後も外国人労働者の受け入れは継続する方針。町内の同業他社でも受入が増えている模様。(建設業)
道央	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術者不足が最大の課題。(土木工事業) ・ 労務費や建築資材の上昇、建設技術者不足など、様々な課題が山積するが、ICTの活用や従業員の技術力向上などを図りながら、受注拡大、利益の確保に努めたい。(総合建設業) ・ 住宅着工戸数が低迷する中、住宅ローン金利が上昇し、影響を懸念。(建築工事業) ・ 理系学生の採用は年々難しくなっている。採用活動の強化を図るだけでなく、社員の学び直し、業務の省力化・効率化にも注力していく。(建築設計業)
道北	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般住宅の建築コストが高止まりする中、需要が低迷。(木造建築工事業) ・ 住宅需要の低迷が続く中、業況は厳しい。(木造建築工事業) ・ 需要はあるのに、人手が足りず、受注を調整している。(電気工事業) ・ 風力発電メンテナンス部門の技術者が不足。地元採用を進めたいので、振興局主催の企業説明会への出展、インターンシップの受入などに取り組んでいる。(建設業) ・ 有資格者の採用が難しいので、3年間の就労継続を条件に、資格取得に要する費用を会社が負担している。(建設業)
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共工事の減少に伴い、骨材や生コン需要が減少。年々右肩下がりとなっている。(採石・砂利採取業)
釧路・根室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃上げ分を価格に転嫁できず、負担が増大。(土木工事業)

【製造業】

道南	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋鮭の漁獲量は以前の4分の1程度に減少し、注文を断らざるを得ない。(水産加工業) ・ 漁獲量減少に伴い仕事量も減っており人手不足感はない。(水産加工業) ・ 顧客離れが心配で、材料費上昇分を価格に転嫁できない。(菓子製造業) ・ 紅麴成分を含むサプリメント問題を受け不信感が拡がる中、需要が落ち込んでいる。(生薬素材製造業) ・ 自社や業界の魅力を幅広く知ってもらうために、見学会を積極的に開催。外国人材の受入も実施。(造船業)
----	--

道央	<ul style="list-style-type: none"> ・ カカオの価格が急騰し、価格転嫁が追いつかない。(菓子製造業) ・ 原材料費や燃料費の上昇分に加え、今後は人件費についても価格転嫁を検討していかなくてはならない。(製造業) ・ 現在はインバウンド需要が牽引し業況は回復。今後は国内客の需要伸長を期待。(製造業) ・ 猛暑の影響で売上は伸長したが、電気代や人件費などの上昇により収益は計画を下回った。(製氷業) ・ 中途採用を含め、毎年従業員の採用はできている。様々な工程に分かれているので、従業員の技術習熟のために教育活動を重視。(製造業) ・ 製造工程のDX化を進めるなどし、出荷量を増加させたい。(製造業) ・ 賃上げの実施や社員寮の新築などに取り組んでいるが、採用がままならず、残業せざるを得ない状況。(製造業)
道北	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賃上げや福利厚生にも力を入れているが、工場従業員は不足しており、ベトナムやインドネシアなどからの外国人材を受け入れている。(水産加工業) ・ 消費者のニーズが、モノからコト消費に移行し、売上が大きく減少。積極的に商品のPRに取り組みたい。(家具・木製品工業) ・ 原料費や輸送費など様々なコストが上昇を続け、商品を値上げしても追いつかない。(食料品製造業) ・ ドライバー不足や時間外労働の上限規制適用などで、以前のように「翌日配送」ができない。(食料品製造業) ・ 子どもの数が減少を続ける中、学校給食への納品が減少しており、福祉施設など顧客層を拡大したい。(食料品製造業) ・ 物流拠点の整備が進み、販路拡大に繋がっている。(食品製造業) ・ ニシンの現地(カナダ等)価格は昨年より安価なのに、円安の影響で、仕入価格は昨年並みの水準。(水産加工業) ・ 子育て世代が働きやすい職場環境づくりを進めているが、人材確保は難しい。(縫製業) ・ 離島で就業してもらうためには、宿泊場所の整備が急務だが、個々の企業での対応には限界がある。(水産加工業)
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> ・ インバウンド需要の増加に伴い、土産物店への納品が増加。(食品製造業) ・ これまで企業努力で製品価格を据え置いてきたが、カカオ価格の高騰により商品の値上げをせざるを得ない。今後の売上への影響が見通せず不安。(菓子製造業)
十勝	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢社員の退職が増える一方、新規採用ができない。学生への会社説明会の機会を増やしてほしい。(食料品製造業)
釧路・根室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原料減少(搾乳量減少)に伴い、北海道物産展への出展が減少。(食品製造業)

【卸売・小売業】

道南	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人口減少が進む中、ガソリンスタンドが過剰になってきている。(燃料販売業)
道央	<ul style="list-style-type: none"> 売上台数が落ち込んでいる中、客離れが心配で、仕入値が上昇しても価格に転嫁できない。(中古車販売業)
道北	<ul style="list-style-type: none"> 今期は受注額が伸び、前期に比べ業績が好転。(機械鋼材卸売業) 商品自体の価値は変わらないのに値段は上がるので、売上が伸び悩んでいる。(繊維・衣服等卸売業) 地方の小売店の業況が低調となる中、人手不足や物流費高騰等もあって、旭川から先の地域には販売しないといった業者も増えてきている模様。(飲食品卸売業) 原材料の値上げ幅が大きく、減収覚悟で商品の値上げを実施したが、その後も原材料費の高騰が続き、製造・販売体制の見直しが必要。(食料品小売業) 円安の影響を受け、外国人による中古車買いつけが増え、仕入価格が上昇。(中古車販売業) 人材確保・育成、さらには事業継承に不安を抱えている。給与や福利厚生などの改善に努めているが、活路が見いだせない状況が続いている。(機械器具小売業)
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> 管内でも気温の高い日が多くなり、エアコン需要が増加。安定的な売上が続いている。(電気用品販売業) 人手不足だが賃金が上昇し、新たな採用ができない。また、資材価格等上昇も加わり、設備投資ができない。(電気用品販売業)
釧路・根室	<ul style="list-style-type: none"> 原材料や光熱費等の高騰により、弁当価格を値上げしたが、販売数が減少し売上もコロナ禍前より大きく下がった。(食品小売業) 漁獲量は減少しているが魚価が上昇しており売上は減少していない。しかし、資材や燃料代等の高騰により経営環境は厳しい。(水産物卸売業) 人手不足が深刻でハローワークで募集しているが応募が無い。水揚げに応じて休日でも出勤しなくてはならないが、人手不足で代休を取ることができず、労働環境の改善が進まない。(水産物卸売業) 自動車整備士を目指す学生が減少しており、外国人労働者に頼っている。(自動車小売業)

【運輸業】

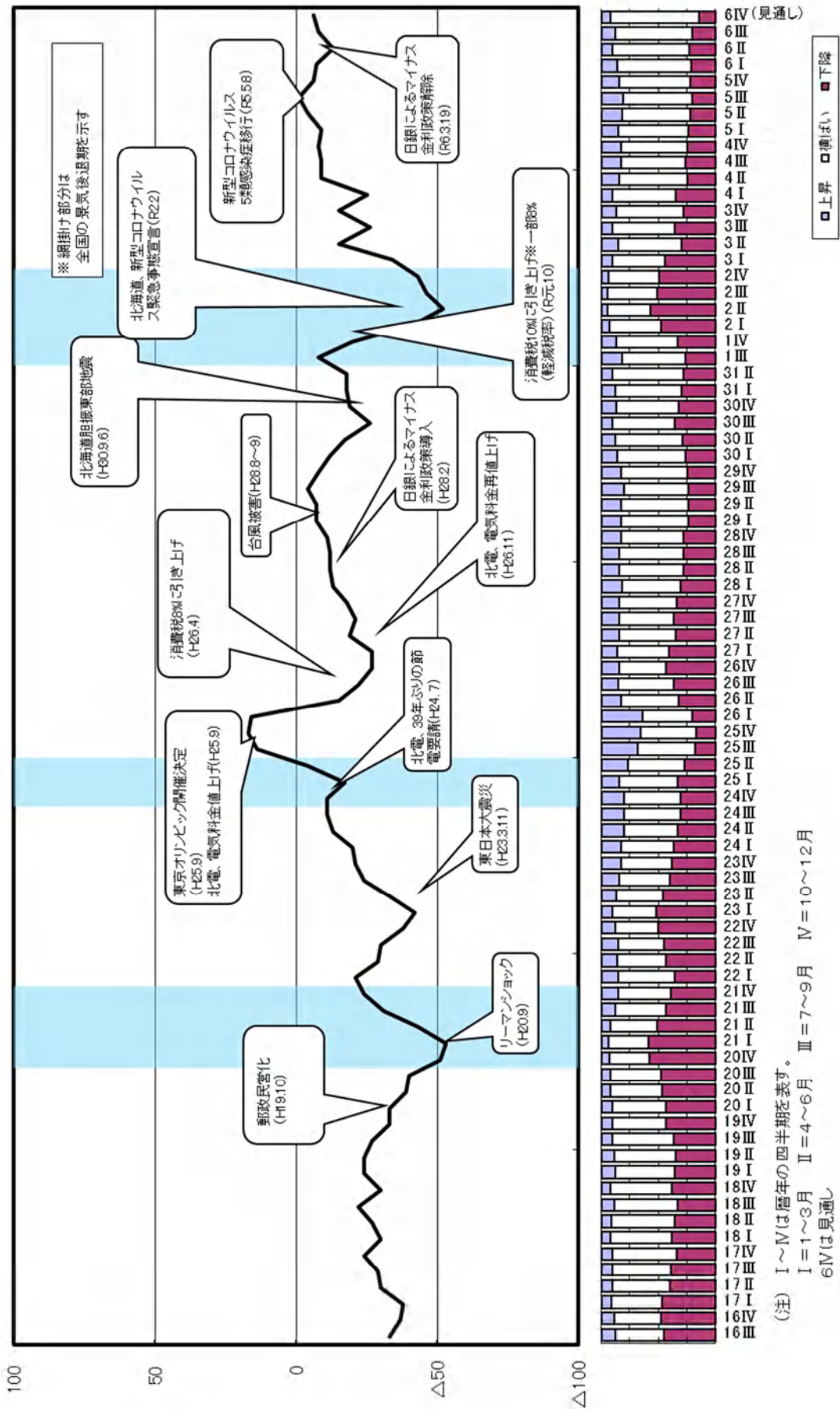
道南	<ul style="list-style-type: none"> 燃料費や人件費が上昇しているが、価格転嫁ができているため、利益は増加傾向。修学旅行や部活動の大会、インバウンドの団体旅行など、予約は多く、管外からの依頼も増加。(貸切旅客自動車運送業) 今春、運転手を複数名採用できたため、深刻な人手不足状況は緩和。(貸切旅客自動車運送業) タクシードライバー不足が解消せず、従業員の高齢化も進んでおり、ライドシェア参画も検討したい。(一般常用旅客自動車運送業)
道央	<ul style="list-style-type: none"> バス車両やタイヤ、車両修繕費が高騰し、更新時の負担が大きな課題。(貸切旅客自動車運送業)

道北	<ul style="list-style-type: none"> 夏場のイベント等で人流が回復し業況は徐々に好転している。(一般乗用旅客自動車運送業) 土木建設会社との価格交渉が難航しており、当社が希望している時間単価での支払請求ができず困っている。(一般貨物自動車運送業) 資金繰りの状況が好転せず、借入金の返済が負担。車輛の更新を凍結。(運送業)
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> 後継者不足が一番大きな課題。(一般乗用旅客自動車運送業) 燃料費や人件費等が高騰する一方で、荷主との間で運賃改定の協議が進まない。(一般貨物自動車運送業)

【サービス業】

道南	<ul style="list-style-type: none"> 電気代上昇やおむつ等の衛生資材価格が上昇、人手不足も深刻化し、施設の経営を圧迫。(介護福祉施設) 40歳代以降の離職者が多く、補充も困難。人手不足が続くため、入所者を増やせず、経営が厳しい。(介護福祉施設) ビジネス客利用が増加傾向だが、人手不足で稼働率を落としており、売上減少。(宿泊業) 夏休み期間中は客入りが良く、経営は順調。(飲食業)
道央	<ul style="list-style-type: none"> 円安の影響でコーヒー豆の仕入価格は上昇しているが、全て価格転嫁できている。(飲食業) 地域でホテルの新規開業が相次ぎ、同業者間で人手の取り合いになっている。(宿泊業) 価格交渉に時間が要し、なかなか価格転嫁が進まない。(警備業) 繁忙期(冬季)に向け、今からパート・アルバイトの確保を進めているが、地域内他社の賃金は高く、そもそも地域に人が居ないこともあり、採用は困難な状況。(飲食業)
道北	<ul style="list-style-type: none"> テイクアウトや配達等の需要が伸びているにも関わらず、人手不足から営業時間を短縮せざるを得ず、売上が減少。(飲食業) タクシーの営業時間短縮の影響を受け、二次会利用客が減少傾向。(飲食業) 資格の有無に関わらず中途採用を行っており、必要な資格は入社後に取得するよう人材育成を行っている。(ガス・電気販売業) お客様として宿泊した人が、魅力を感じ、今度はアルバイトとして就業するケースもあって、人手は足りている。(宿泊業) 外国人材を受け入れることとし、居住用の中古物件を買い上げるなどの準備を進めている。(宿泊業) IT業界(ソフト開発)では、従業員の高齢化、若手の育成・定着が課題。将来を見据えた人材確保・養成が必要。(情報処理・提供サービス業)
オホーツク	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊客は工事関係者が多い。大きな工事の完了に伴い、宿泊客は減少傾向。(宿泊業) 重機の免許等の資格取得費用などは、会社で支援しているが、人手不足解消には繋がっていない。(廃棄物処理業)
十勝	<ul style="list-style-type: none"> 人手不足が進む中、外国人材の活用を進めていきたい。(旅館・ホテル業)

8 業況感の長期推移



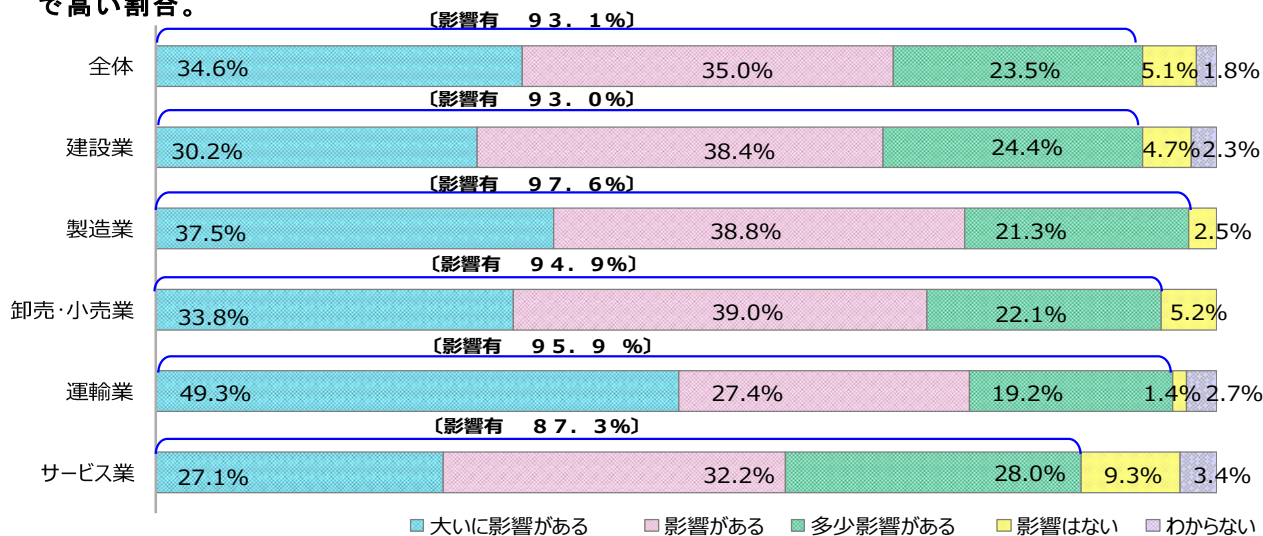
3

特別調査

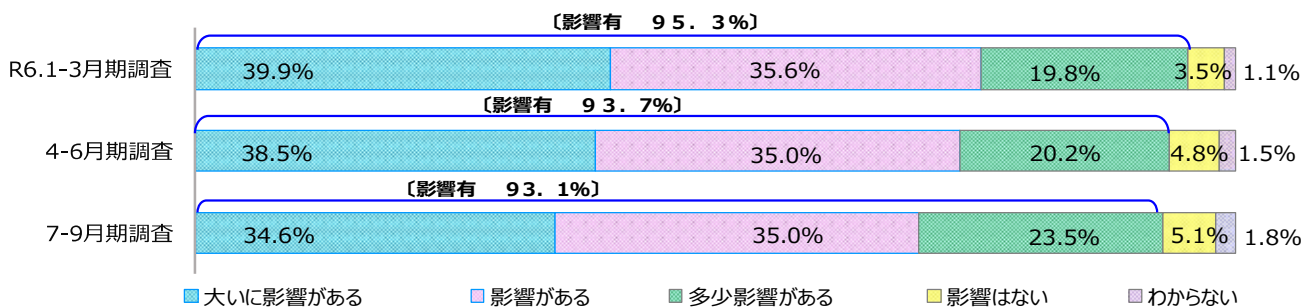
1 原油・原材料価格高騰の影響について

(1) 経営への影響

原油・原材料価格高騰の経営への影響について、全体では、『影響がある』（「大いに影響」、「影響」、「多少影響」をいう。以下同じ。）と回答した企業の割合は93.1%。業種別では、製造業が97.6%と最も高く、最も低いサービス業でも87.3%と、すべての業種で高い割合。

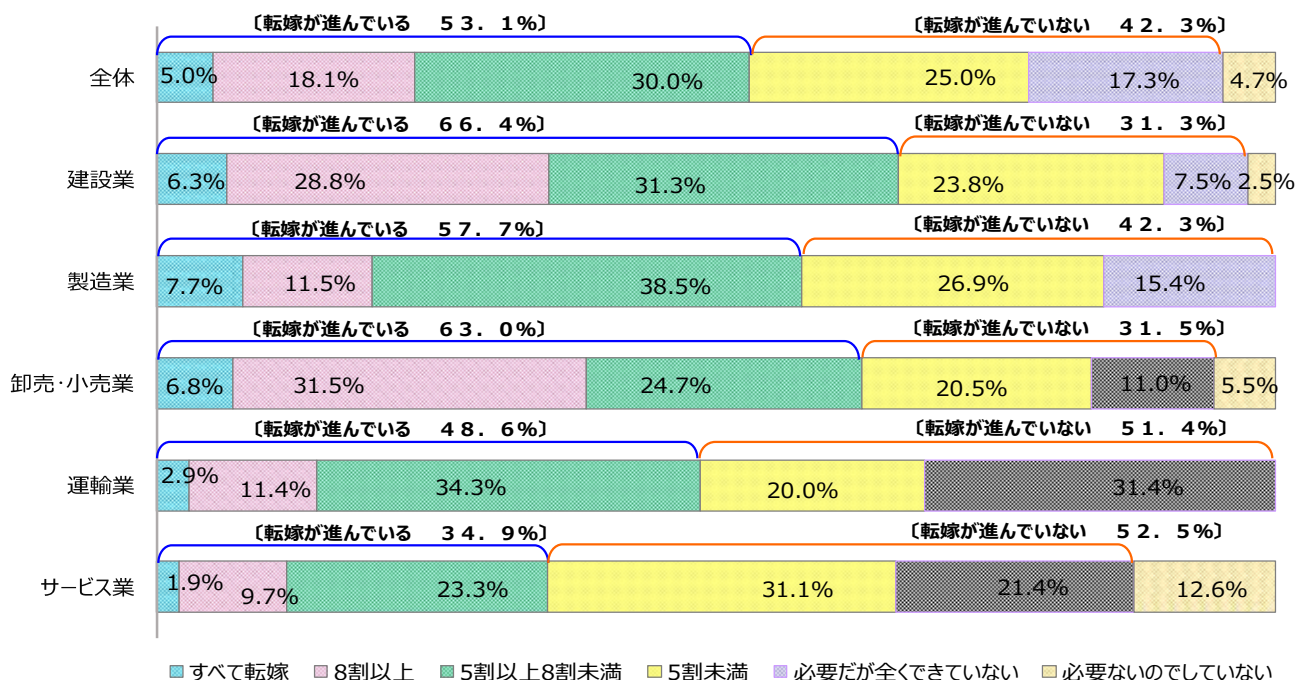


調査開始以降、『影響がある』と回答した企業の割合は、9割を超える高い水準で推移。

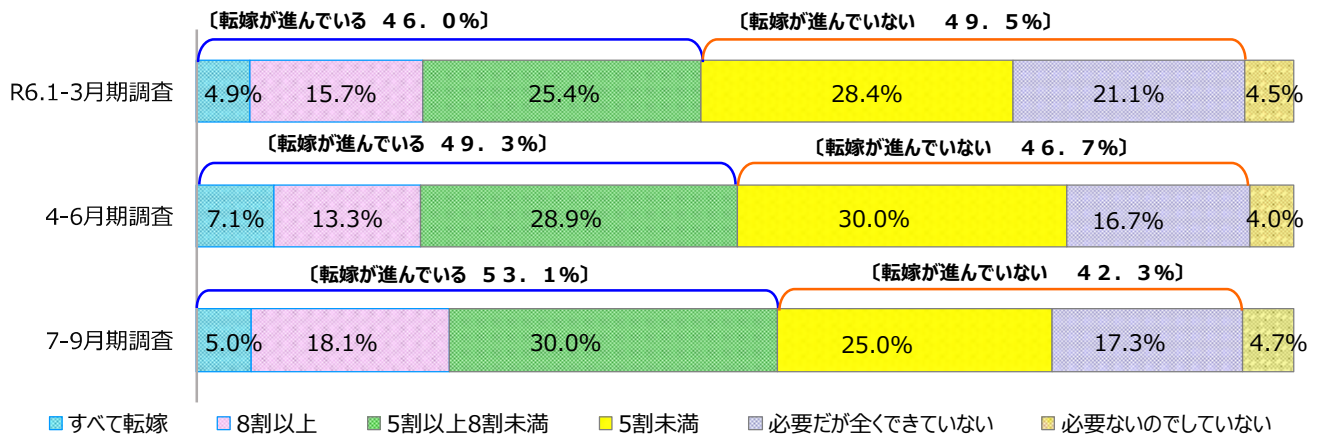


(2) 価格転嫁の状況

全体では、『価格転嫁が進んでいない』（「5割未満」、「必要だが全くできていない」をいう。以下同じ。）と回答した企業の割合は42.3%。特に、サービス業(52.5%)、運輸業(51.4%)では、価格転嫁が進んでいない割合が高く、依然として、業種間の格差が存在。

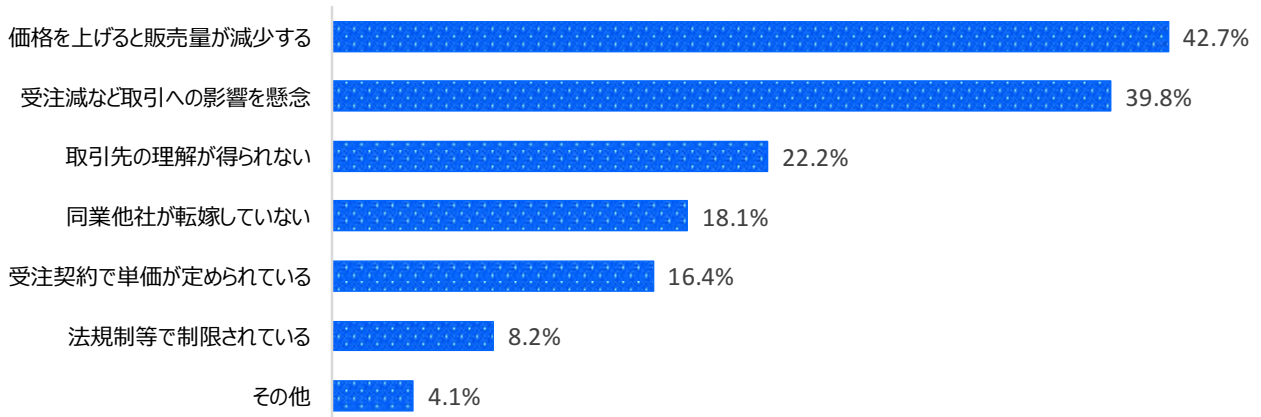


調査開始以降、徐々に価格転嫁は進んでいるものの、依然として『必要だが全くできていない』企業が2割近い。



(3) 価格転嫁が難しい理由 (複数回答)

価格転嫁が難しい理由について、最も多かった回答は、『価格を上げると販売量が減少する』(42.7%)で、次いで『受注減など取引への影響を懸念』(39.8%)、『取引先の理解が得られない』(22.2%)が続く。

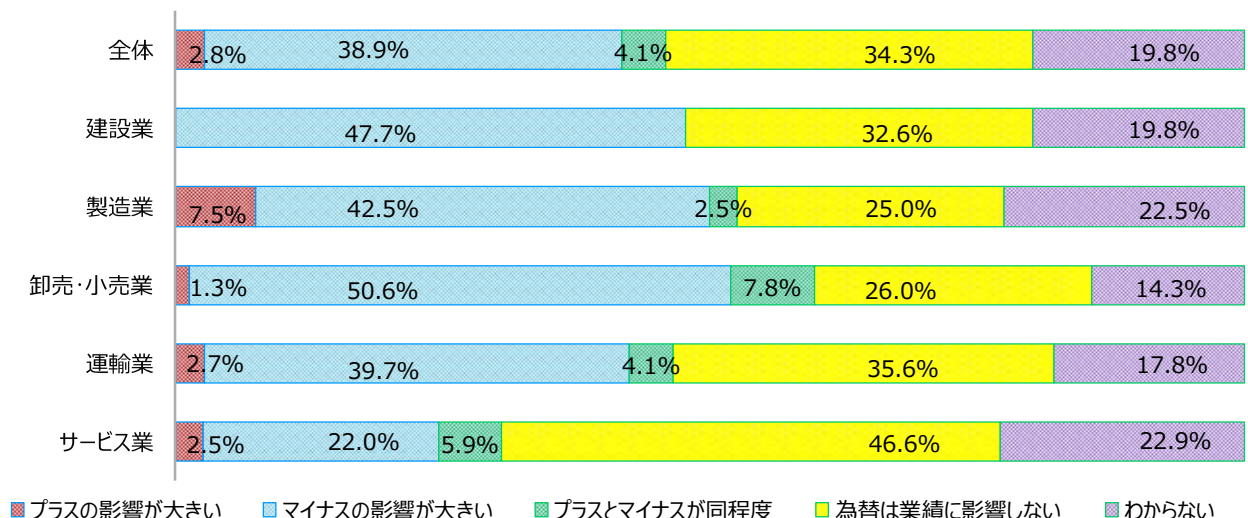


2 円安の影響について

(1) 円安の影響

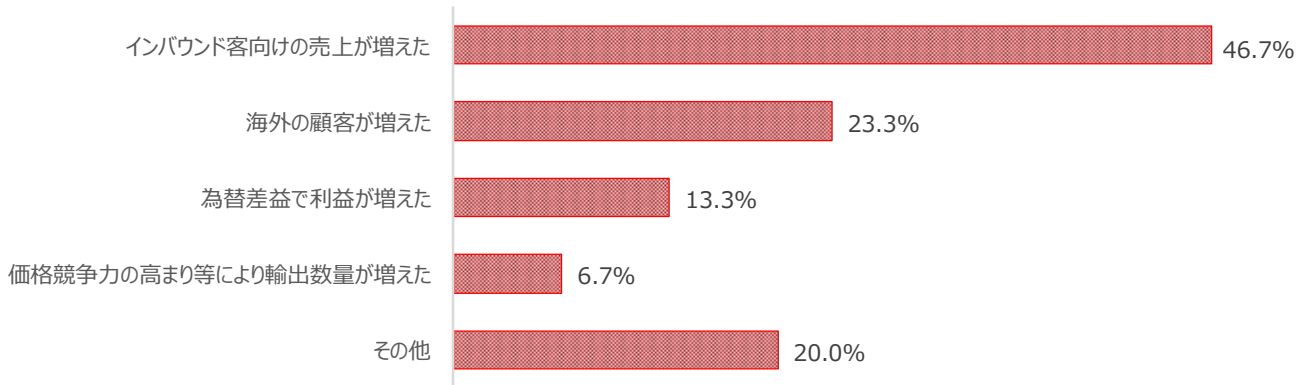
全体では、『マイナスの影響が大きい』と回答した企業の割合が38.9%と最も多く、次いで『為替は業績に影響しない』(34.3%)が続く。『プラスの影響が大きい』は2.8%、『プラスとマイナスが同程度』は4.1%にとどまった。

『マイナスの影響が大きい』と回答した企業の割合は、卸売・小売業(50.6%)が最も高く、次いで建設業(47.7%)が続く。また、『プラスの影響が大きい』と回答した企業の割合は、製造業(7.5%)が最も高く、次いで運輸業(2.7%)が続く。



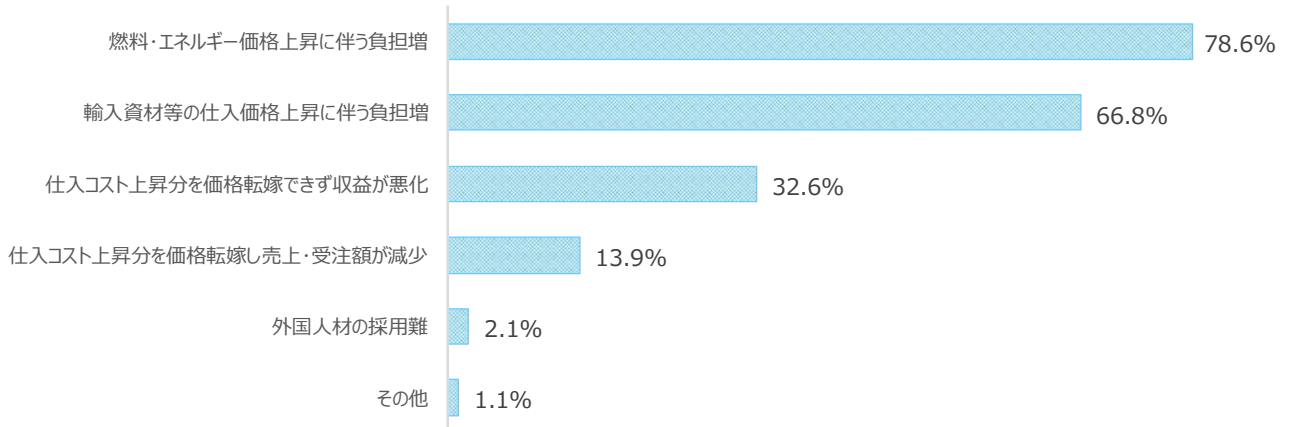
(2) プラスの影響の具体的な内容 (複数回答)

プラスの影響について、最も多かった回答は、『インバウンド客向けの売上が増えた』(46.7%)で、次いで『海外の顧客が増えた』(23.3%)が続く。



(3) マイナスの影響の具体的な内容 (複数回答)

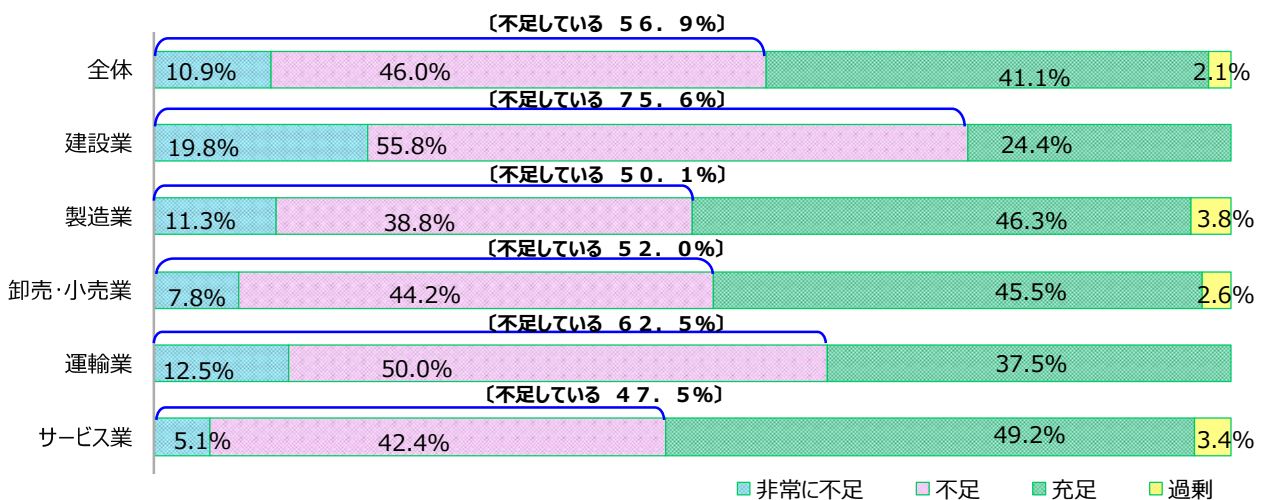
マイナスの影響について、最も多かった回答は、『燃料・エネルギー価格上昇に伴う負担増』(78.6%)で、次いで『輸入資材等の仕入価格上昇に伴う負担増』(66.8%)が続く。



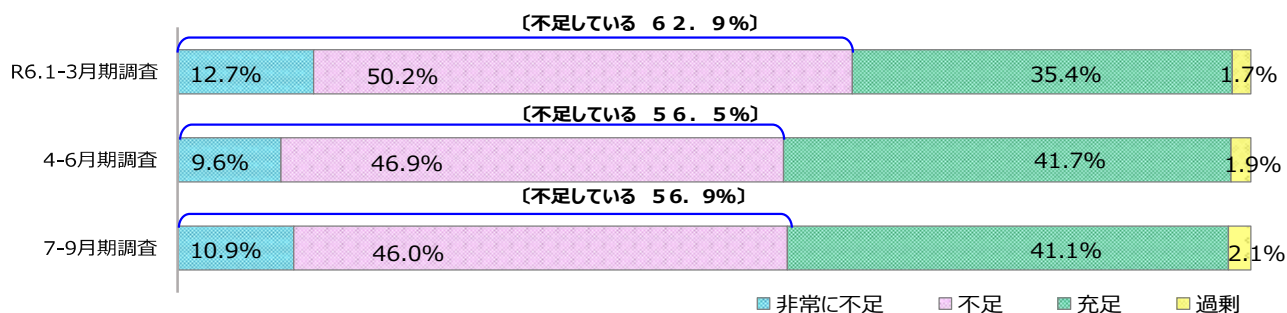
3 人手不足の状況について

(1) 正規従業員の充足の度合い

正規従業員の充足度合いについて、全体では、『不足している』(「非常に不足」、「不足」をいう。以下同じ。)と回答した企業の割合は56.9%。業種別では、建設業(75.6%)が最も高く、次いで運輸業(62.5%)が続く。

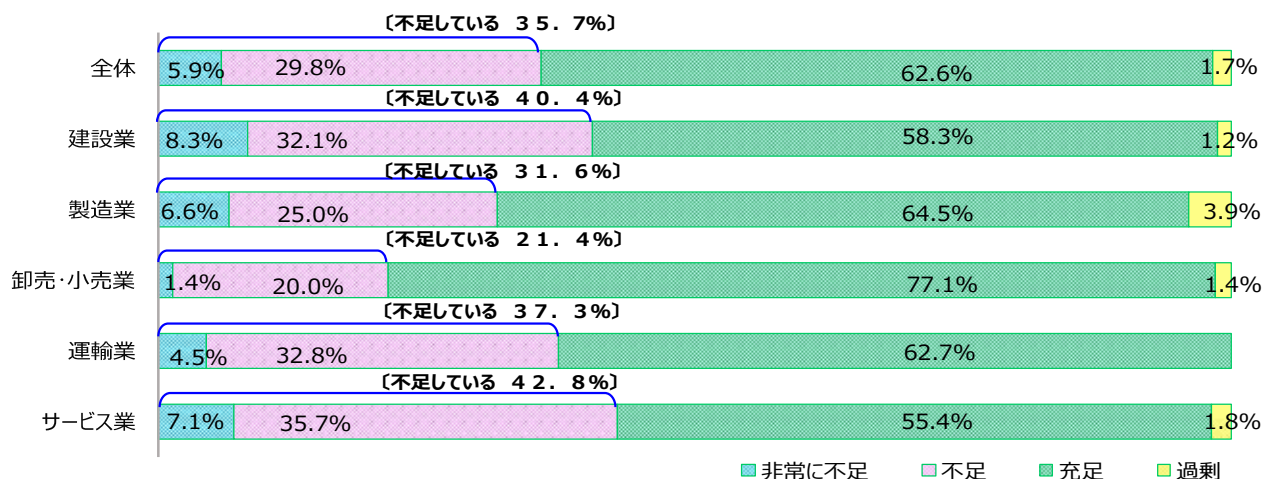


『不足している』と回答した企業の割合は、前回調査から0.4ポイント拡大。

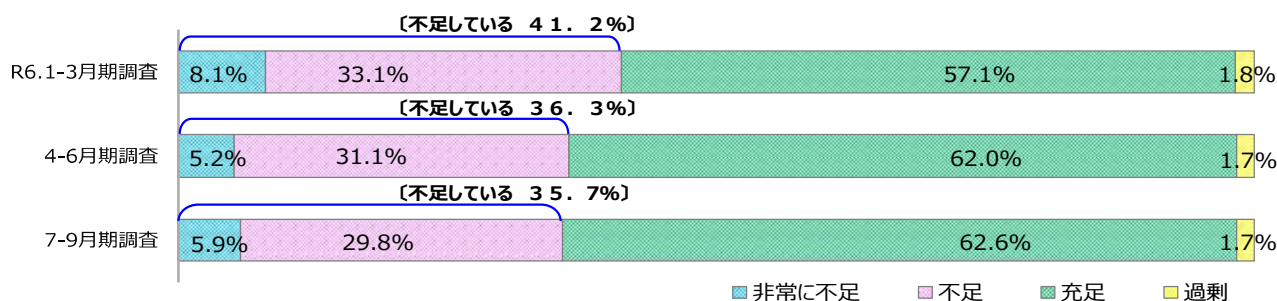


(2) 非正規従業員の充足の度合い

非正規従業員の充足度合いについて、全体では、『不足している』と回答した企業の割合は35.7%。業種別では、サービス業(42.8%)が最も高く、次いで建設業(40.4%)が続く。



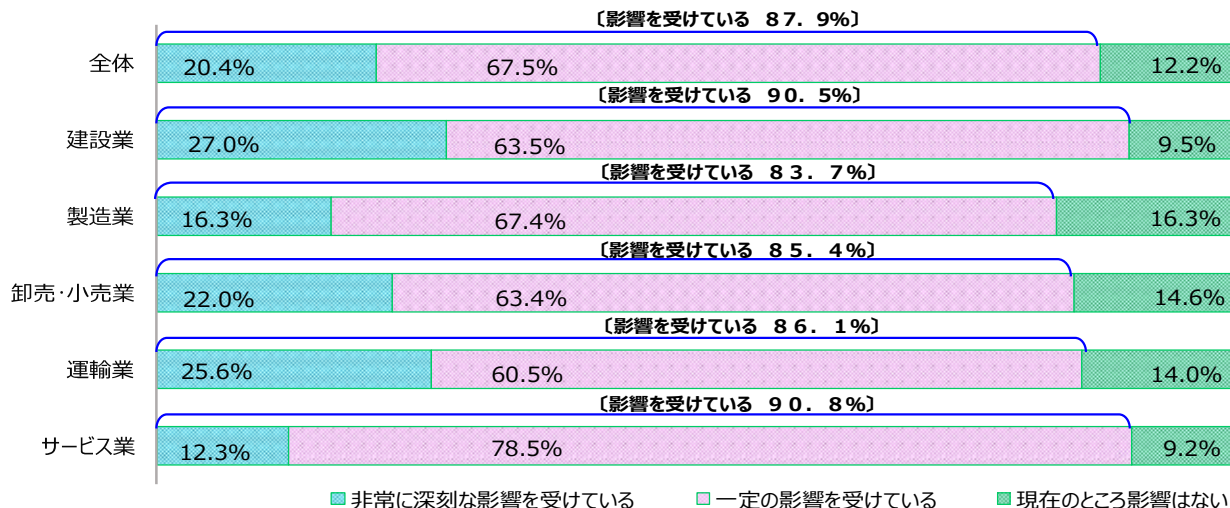
『不足している』と回答した企業の割合は、前回調査から0.6ポイント縮小。



(3) 人手不足の影響の程度

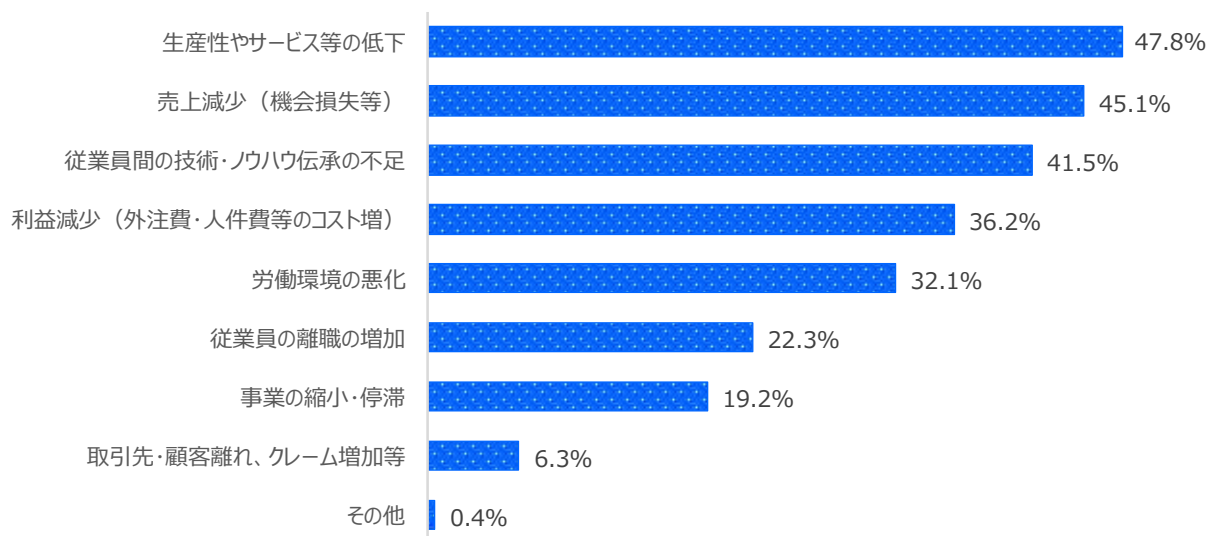
人手不足の影響について、全体では、『影響を受けている』（「非常に深刻な影響」、「一定の影響」）と回答した企業の割合は87.9%。

業種別では、サービス業(90.8%)が最も高く、次いで建設業(90.5%)が続く。



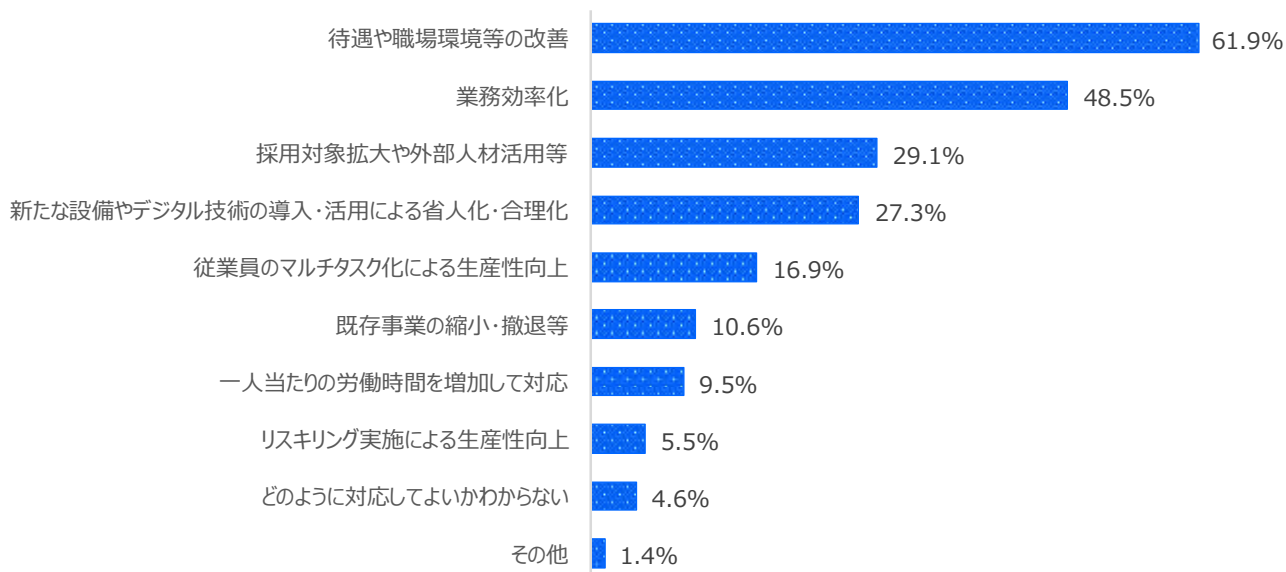
(4) 人手不足の影響に関する具体的な内容（複数回答）

人手不足の影響について、最も多かった回答は、『生産性やサービス等の低下』（47.8%）で、次いで『売上減少（機会損失等）』（45.1%）、『従業員間の技術・ノウハウ伝承の不足』（41.5%）が続く。



(5) 人手不足の影響緩和対策（複数回答）

人手不足の影響緩和対策として、最も多かった回答は、『待遇や職場環境等の改善』（61.9%）、次いで『業務効率化』（48.5%）が続く。



4

調査方法

1 調査内容

道内の企業経営者に対し、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて四半期毎に調査を実施。

2 調査時点

令和6年10月1日

3 調査方法

「郵送」又は「インターネット」によるアンケート調査

4 調査対象及び回答企業数

区分	調査対象 企業数(A)	回 答 企業数(B)	回答率
			(B/A・%)
総 計	900	434	48.2%
札幌市を除く	701	337	48.1%
札幌市	199	97	48.7%
業 種			
建設業	125	86	68.8%
製造業	150	80	53.3%
卸売・小売業	188	77	41.0%
運輸業	131	73	55.7%
サービス業	306	118	38.6%
資 本 金			
5千万円未満	618	297	48.1%
5千万円以上～1億円未満	156	74	47.4%
1億円以上	126	63	50.0%
地 域			
道南	109	51	46.8%
道央	382	183	47.9%
札幌市を除く	183	86	47.0%
札幌市	199	97	48.7%
道北	132	73	55.3%
オホーツク	89	29	32.6%
十勝	94	46	48.9%
釧路・根室	94	52	55.3%

(注) [道南]・・・渡島総合振興局、檜山振興局
 [道央]・・・空知総合振興局、石狩振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局
 [道北]・・・上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局
 [オホーツク]・・・オホーツク総合振興局
 [十勝]・・・十勝総合振興局
 [釧路・根室]・・・釧路総合振興局、根室振興局

5 BSI(Business Survey Index)指標について

この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して(景況感は前期)、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、各BSI指標を次により算出。

$$BSI = (\text{「上昇」とする企業の割合}(\%)) - (\text{「下降」とする企業の割合}(\%)) \\ (-100 \leq BSI \leq 100)$$

【計算例(企業数:200社)】

業況感について、「上昇」とした企業20社、「横ばい」とした企業120社、「下降」とした企業60社の場合

$$\frac{20\text{社}}{200\text{社}} \times 100 - \frac{60\text{社}}{200\text{社}} \times 100 = 10\% - 30\% = -20$$

よって、この場合の業況感BSIはマイナス20

※小数点以下の端数がある場合は四捨五入

その先の、道へ。北海道

企業経営者意識調査（第143回）

令和6年11月発行

編集・発行北海道経済部経済企画局経済企画課

T E L 011-204-5139

「企業経営者意識調査」の結果は、経済企画課のウェブサイトでもご覧いただけます。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/bsi.html>